

# 目 次

---

## 【平成 27 年度事業報告書】

I 平成 27 年度総括	1
II 平成 27 年度事業報告	
1 文化施設等を活用して、市民が文化・芸術に触れる機会と場を提供する事業	6
2 文化・芸術に関する講座の開催等、文化・芸術に関する知識及び技能の習得を図る事業	8
3 文化・芸術の振興に関する表彰、助成等を行う事業	10
4 地域文化に関する調査及び情報の提供を行う事業	11
5 青少年育成施設等を活用して、青少年の社会性と豊かな情操を養う機会と場を提供する事業	12
6 青少年音楽団体の運営及び青少年団体に対する助言その他の支援を行う事業	14
7 生涯学習施設を活用して、生涯学習の機会と場を提供する事業	16
8 公益目的事業の推進に資する事業	17
9 会議 (評議員会、理事会、監事會、表彰審査会、文化振興委員会、青少年育成委員会、コンサートホール・能楽堂企画運営委員会)	18
III 平成 27 年度事業報告の附属明細書	
1 文化事業課	21
2 市民文化会館	25
3 視聴覚ライブラリー	27
4 コンサートホール・能楽堂	29
5 青少年センター	34
6 総合野外センター	38
7 産業文化センター	41
8 放課後児童クラブ	45
9 交流館	46
10 教職員会館	57

## | 平成27年度 総括

当財団は、公益財団法人として「自律と貢献の公益経営」を目指し、「文化及び芸術の振興に関する事業」、「青少年の健全な育成に関する事業」、「生涯学習活動の推進に関する事業」を3つの根幹事業と位置付け、「創造性豊かで潤いと活力に満ちた市民生活の実現への寄与」に向けて公益目的事業を推進しているところです。

平成27年度は、新たに豊田市北東部において豊田市放課後児童健全育成事業「放課後児童クラブの運営」を受託しました。当財団の強みである「文化芸術振興」「青少年健全育成」のノウハウを活かした、従来にないプログラムを放課後児童クラブの子どもたちに届け、青少年の健全育成に関して新たな取り組みを開始しました。

また、産業文化センターと、同施設内に移転し青少年健全育成の拠点としてリニューアルオープンした青少年センターとの連携をさらに強化することで、両施設を財団が運営しているメリットを最大限にアピールし、新たな事業提案を積極的に実施してまいりました。

交流館運営においては、「交流館運営基本方針」のもと、各交流館が地域の実情を見つめ直すとともに、地域内の各層により広げた活動を展開していくことを重点に取り組みました。

さらに、平成26年度に自律化プロジェクトにより取り組んだ「公益経営戦略ビジョン」の進捗状況の検証結果を踏まえ、遅れている項目についてスピードアップを図り、目標達成に向けての取り組みを進めました。

今後も「創造性豊かで潤いと活力に満ちた市民生活の実現」に向けて、役職員が一丸となって公益の担い手としての責任を果たし、当財団の存在感を高めると共にその役割を広く市民の皆様にご理解いただけるよう努力してまいります。

## 1 市民文化の推進

- 「豊田市文化芸術振興計画」の基本理念「ふるさとの文化を継承し 新たな文化を創造して 人が輝き誇りがもてるまちづくりをめざします」を指針に、文化・芸術と出会う機会の充実、文化・芸術活動の機会の提供、文化振興を担う人材の育成・活用に重点を置き、事業を実施しました。
- コンサートホールでは、指揮者・小澤征爾が総監督を務める日本を代表する室内オーケストラ「水戸室内管弦楽団」、結成60年を超える世界で最も有名な弦楽アンサンブルの「イ・ムジチ合奏団」、モーツアルト作品を得意とする「ポーランド国立ワルシャワ室内歌劇場」のオペラ、名実ともに日本のジャズ界をリードする巨匠「北村英治」のジャズコンサート、本場スペインから伝統の「フラメンコ」、ドイツの著名なオルガニスト「ヘルムート・ドイチュ」のオルガン・リサイタル、ハンガリーの名門オペレッタ劇場によるニューイヤー・コンサートなど、ホールの特性を活かした質の高いコンサートを開催しました。  
能楽堂では、歌舞伎「勧進帳」の原曲である能「安宅」、源氏物語ゆかりの能「野宮」と女優・檀ふみによる朗読、中国の伝統芸能「京劇」、人気の茂山家一門による新作狂言などを開催。  
また、一部の公演には事前講座とイヤホンガイドを実施して初心者でも楽しめる工夫をしつつ、個性ある魅力的な事業を行いました。  
好評の招へいアーティストや能楽師などによる市内小中学校等への「アウトリーチ事業」では、中学校の合唱コンクール練習時期に合わせ、「東京混声合唱団」による学校訪問を実施しました。  
また、親子での来場者が増加したワンコイン60分コンサート「かーるくラシック」を引き続き夜間に開催し、幅広い市民層が楽しめる機会を提供しました。
- 市民文化会館では、文化芸術の良さを身近に感じる機会として「松竹大歌舞伎公演」、「宝塚歌劇団公演」、良質な伝統芸能に親しむ機会として「とよた寄席」などの鑑賞事業をバランスよく提供しました。その他として、より充実した事業展開を図る「文化講演会」などの事業や、文化会館に触れるきっかけづくりと親しみやすさをアピールする「舞台ウラ探検」、市民も体験参加でき、職員の危機管理能力を高める「避難訓練とアニメ映画会」を実施しました。
- 地芝居保存団体との交流を目的とする「全国地芝居サミット」、旭地域など3ヶ所の舞台公演と4ヶ所のアート展示による農村舞台の新たな活用を模索する「農村舞台アートプロジェクト2015」、文化団体や市民の発表の場として下山地域での「とよた市民芸能交流大会」の実施など、伝統文化の継承と地域活性化を図るとともに、文化・芸術活動の機会の提供と質の向上に努めました。また、子どもたちが文化・芸術に出会う機会の充実を図るとともに、文化活動者の社会貢献の場とすることを目的として市内小中学校を対象に「文化活動者派遣事業」を実施しました。
- 次世代の文化を担う子どもたちの育成を目的に、演劇を通して創造力や表現力を培う「こども創造劇場」、地域における舞台芸術分野での文化・芸術ボランティアの中核となる人材の育成を目的とする「演劇アカデミー」を実施しました。また、文化活動者のスキル、知識や経験を活かす「夏休みこども博覧会」、ものづくりを通して技術・技能の習得と普及を目的とする「全国竹とんぼ競技大会」などを実施することにより、文化・芸術に関する人材の育成・活用を図りました。

## 2 青少年健全育成の推進

- 再整備された青少年センターでは、新たな利用者層の開拓を狙いとした「若者フェス」を開催するとともに、「自立支援ジョブトレ事業」、「クリスマスパーティー」、「ユースサポートクラブ」、「高校生ボランティアスクール」、「大学生共働事業」などを通して、青年が抱える様々な問題解決、青少年サークル・学生との連携強化に努め、街中の青少年活動の拠点施設として機能するよう努めました。そのほかにも「豊田市青少年団体傷害互助会事業」、「レクリエーション団体指導者派遣」、「レクリエーション入門講座」を実施し、地域における青少年育成活動を支援しました。
- 総合野外センターでは、「山の子学級」、「六所のつどい」、「チャレンジキャンプ」などの事業や、「親子 de キャンプ」、「ファミリーキャンプ」などの親子ふれあい体験活動を通して、主体性や豊かな情操を備えた、心身共に健全な青少年の育成を図りました。また、大学生の社会参加を支援する事業として、大学生が企画運営する「キッズキャンプ」を実施し、青年指導者の育成に取り組みました。
- 産業文化センター（とよた科学体験館）では、宇宙飛行士養成訓練を体験する「宇宙飛行士ワークショップ」、天文や宇宙科学の知識を競い合う「第2回小中学生天文クイズ」など、青少年の科学やものづくりに対する知的好奇心を高め、創造力の育成を図りました。  
また、中学・高校の科学部の活動を支援する「サイエンススクール」では、「サイエンスショーコンテスト」を実施し、成果発表の機会と交流の場を提供しました。
- 放課後児童クラブでは、青少年の健全な育成の推進を図ることを目的に、従来の運営に加えて、当財団の強みである「文化芸術振興」、「青少年健全育成」、「科学体験やものづくり」、「地域の人財資源の活用」などのノウハウを活かし、子どもたちに様々な事業や体験活動を提供しました。
- 藤岡中央児童館の閉館に伴う新規事業として「飯野地区子どもの居場所づくり」に取り組み、地域住民の方々と連携して、子どもたちに様々な事業や体験活動を実施しました。また、併設する飯野小学校放課後児童クラブとも連携して運営することができました。

### 3 生涯学習活動の推進と地域活動の支援

- 豊田市の交流館運営基本方針に掲げる「人づくり・地域づくり・生きがいづくり・地域活動の担い手づくり」を推進するため、家庭教育講座、子ども・高齢者向け講座、環境・防災・防犯講座など、市民に生涯学習の機会を提供しました。
- 地域における住民の育ちあい・学びあいを推進するため、交流館自主グループや地域の人材を活かし、講師となって地域住民に教えるための支援と、地域人材が交流館を活用し、地域づくりに資する事業を行うための支援を行いました。  
また、子どもを地域活動の担い手とするために、地域住民が子どもに対して行う事業の支援や、子どもが地域活動へ参画することを目的にした事業に取り組みました。
- 子ども達が地域に愛着を持ち、将来にわたって「地域の担い手」となることを目指して、青少年センターと共に平成26年度より開催を始めた「キッズタウン」を、平成27年度は2館（井郷・益富）で行いました。実施にあたっては、こどもスタッフ会やこどもスタッフに、コミュニティ会議のメンバーなどを加えた全体会を開催するとともに、交流館職員から公募した実行委員も企画の段階から携わりました。
- 全27館の交流館職員が一堂に会し、事例発表や分科会で討議を深め、今後の交流館事業に活かすために「全体研究集会」を竜神交流館で開催しました。  
各施設職員に事例発表をおいて交流館事業を理解してもらうとともに、今後の施設間連携事業を模索する機会を提供しました。
- 住民同士のふれあいと交流により地域の絆の大切さを深め、地域力を引き出すため、コミュニティ会議や地域で活動する団体などと共に「生涯学習フェスティバル 交流館祭・ふれあいまつり」を開催しました。
- 地域の実情に応じた地域づくりへの柔軟な支援に役立てる「地域カルテ」の作成に取り組みました。地域情報の見える化・共有化と主事のコーディネート力の向上を目的に、各館が独自のスタイルでの作成を進めました。
- リニューアルしたホームページを有効活用し、最新情報をタイムリーに提供しました。また、交流館情報紙「まなびん」の内容を一新し、市民の立場に立った情報を発信することで、交流館利用者の拡大を図りました。
- 「放課後児童クラブ」と共働で、講座「そらまめキッズ」（旭交流館）、「夏休みこどもフェスタ」（下山交流館）を実施し、財団内での連携を進めました。

#### 4 自律した財団経営の推進

- 業務に必要な技術や知識を身につける機会を広げ、専門性の向上を図るため、平成26年度に引き続き一般財団法人地域創造及び豊田市役所生涯学習課（平成27年度派遣先：ものづくりサポートセンター）への職員派遣を継続しました。
- 職員行動規範「輝くぶんしん職員の心得10か条」の実践による市民サービスの向上を図るとともに、「人財育成プラン」に沿った研修を実施しました。
- 現在の賛助会員の継続加入はもとより、新たな賛助会員の募集を強化し、支援者の拡大を目指しましたが、会員の継続加入者数は減少してしまいました。  
会費の見直しなども含めて新規会員の獲得とともに、会員を継続していただくための仕組み作りが、課題となっています。  
また、青少年センターにおいて新たな飲料水自動販売機設置の契約を行うとともに、引き続き文化情報誌「カレント」や財団ホームページ上において広告収入の獲得を行うなど、財政基盤の安定化を図りました。
- 財団の強みである「文化」「青少年」「生涯学習」の3つの部門の連携と、各部門における専門性をバランスよく強化することを目的に、定期人事異動による職員の最適活用と活性化、さらに再任用制度及び再雇用制度によるベテラン職員の知識・経験の有効活用などを図りました。

## II 平成27年度 事業報告

### 【1 文化施設等を活用して、市民が文化・芸術に 触れる機会と場を提供する事業：定款第4条第1号事業】

音楽専門ホールを始めとする文化施設等を活用し、文化・芸術の振興を図るため、舞台芸術を中心とした自主公演や主催公演、芸術分野（絵画、書、写真、工芸等）における作品の展示会を実施することで、市民の方々に文化・芸術に直接触れる機会と場を提供し、質の高い文化・芸術の創造と発信、普及を図りました。

#### （1）文化・芸術に触れる機会を提供する事業

##### 主な事業

###### ○ 農村舞台アートプロジェクト2015（文化事業課）

全国的にも例のない地域の文化財を活用した、地域発信のアートプロジェクトとして、農村舞台を活用した取組みを実施しました。平成27年度は、農村舞台を「劇場」として活用する「ライブ」を中心に、地域住民と共に開催し、伝統文化の再生や地域の活性化を図りました。

###### ○ 安藤和久 豊田芸術選奨受賞記念展（文化事業課）

芸術に触れ合う機会として、平成25年度豊田芸術選奨を受賞された紙漆工芸作家の安藤和久氏の芸術を広く市民の方々に紹介しました。

###### ○ 全国地芝居サミット（文化事業課）

（公社）全日本郷土芸能協会と共に開催し、伝統文化の継承及び地域文化の活性化と地芝居保存団体の交流を目的とする全国サミットを開催しました。豊田市における歌舞伎4団体及び地芝居保存活動と農村舞台群を全国に発信することで、この地域が誇る地芝居など伝統文化を広くアピールするとともに地芝居を伝え続ける人々のネットワークを広げました。

###### ○ こどもによる日本の伝統芸能（文化事業課）

地域や小中学校で日本の伝統芸能を学ぶ子どもたちを集め発表する機会を提供することで、後世への伝統芸能の継承と人材育成を図りました。また、青少年センターの「こども茶華道教室」も同時開催し、事業相互の参加者の交流や新たな体験の機会を提供しました。

###### ○ 水戸室内管弦楽団（コンサートホール・能楽堂）

指揮者・小澤征爾が総監督を務める日本を代表する室内オーケストラ「水戸室内管弦楽団」によるモーツアルトの交響曲40番「ジュピター」など名曲プログラムのコンサートを開催しました。

○ 特別公演「さつき能」(コンサートホール・能楽堂)

歌舞伎「勘進帳」の原曲となる能の大曲「安宅」を観世流シテ方の名手、観世鏡之丞が演じました。また、初心者にも楽しんでいただくため事前講座も実施しました。

## 【2 文化・芸術に関する講座の開催等、文化・芸術に関する 知識及び技能の習得を図る事業：定款第4条第2号事業】

文化・芸術に関する分野の人材を育成するため、受講者・参加者を募り、講座・体験活動・競技会を通して、文化・芸術に関する知識・技能の習得を図る事業を実施しました。

### (1) 文化・芸術に関する専門知識・技能の習得を目的とした講座を行う事業

#### 主な事業

##### ○ 舞台芸術人材育成事業 とよた演劇アカデミー（文化事業課）

総合舞台芸術である演劇を通して、演出、プロデュース、広報など舞台制作一般を学ぶ機会を提供し、若者世代の文化振興と地域における文化・芸術ボランティアの中核となる人材育成を図りました。

##### ○ 「みんなで歌おう懐かしい歌を」～外国からの音楽～（コンサートホール・能楽堂）

ポピュラーからウエスタン、ミュージカル、映画音楽、ジャズまで、懐かしい歌のオリジナルを聴き、共に歌う聴衆参加型講座を開催しました。

##### ○ 能狂言が見たくなる講座（コンサートホール・能楽堂）

能狂言に関連した周辺分野から講師を迎えて、様々な角度から能狂言の楽しみ方を話していただく講座を開催しました。

### (2) 文化・芸術の様々な技能の習得を目標とした体験活動を行う事業

#### 主な事業

##### ○ 文化活動者派遣事業（文化事業課）

市内の小中学校を対象に、日本の伝統的な和楽器、日本舞踊、音楽、演劇、美術などの活動者を派遣し、芸術を鑑賞したり、実際に体験したりすることで、日本の伝統文化や芸術に対する理解を深め、伝統文化や芸術の良さを見直す機会を提供しました。また活動者と小中学校の活動を円滑に行えるよう、コーディネーターとして双方のサポートを丁寧に行いました。

##### ○ こどものアート体験プログラム（文化事業課）

市内を中心活躍する文化活動家（アーティスト）を講師に迎え、子どもたちが興味を抱いて気軽に文化芸術に参加できるアート体験をワークショップ形式で運営し、次代を担う子どもたちの文化活動に出会う機会を提供しました。また、交流館などと連携してアート体験で作った作品を展示し、市民に見ていただく機会を提供しました。

- パイプオルガンを楽しむための講座（コンサートホール・能楽堂）  
パイプオルガンへの興味を深め、より楽しんでもらうため映像や演奏を交えた3回シリーズの講座を開催しました。

### （3）文化・芸術に関する技術・技能の習得を目的とした競技会を行う事業

#### 主な事業

- 第54回全日本かるた選手権大会（文化事業課）  
(一社) 全日本かるた協会と共に、日本三大かるた競技大会のひとつである競技会を開催しました。強豪が一堂に会する大会を豊田の地で開催することで、かるた競技の技能とかるた文化を市民が身近に感じができる機会を提供しました。
- 第11回とよたふれあい将棋フェスティバル（文化事業課）  
子ども対象の将棋大会のほか、親子で参加できる将棋指導対局や将棋の基本を学べる将棋ふれあいコーナー等を通じ、技術・技能の習得と親子のふれあいの機会を提供しました。
- 第33回全国竹とんぼ競技大会（文化事業課）  
国際竹とんぼ協会と共に、同時に第12回竹とんぼこどもフェスティバルとして竹とんぼ作り体験と競技大会を行いました。競技会への参加・観戦を通じ、ものづくり文化の振興と普及を図りました。
- 第36回とよた囲碁まつり（文化事業課）  
市内の愛好家が集う囲碁の祭典として、大人、子どもを対象とした囲碁大会やプロ棋士による指導碁、基礎から囲碁を学べる入門講座、大会優勝者とプロ棋士による公開囲碁対局を通じて、技能の習得と市民の交流を図る機会を提供しました。

### 【3 文化・芸術の振興に関する表彰、 助成等を行う事業：定款第4条第3号事業】

文化・芸術を受容、鑑賞するだけでなく、創作や発表といった、地域住民の主体的、創造的な文化・芸術活動を支援・奨励するため、文化・芸術の振興に功績のあった個人や団体の表彰、コンクールの実施や文化団体等への助成を行いました。

#### (1) 地域住民の主体的、創造的な芸術活動を支援・奨励するため表彰を行う事業

##### 主な事業

###### ○ 平成27年度財団大会（文化事業課）

地域の文化振興に業績を上げた功労者を表彰し、主体的、創造的な文化・芸術活動を支援・奨励しました。

#### (2) 地域住民の主体的、創造的な芸術活動を支援・奨励するためコンクールを行う事業

##### 主な事業

###### ○ 第23回とよたフォトドキュメント2015（文化事業課）

豊田市内の出来事や市民の生活・風習を捉えた写真を募集し、展示会を開催することにより、故郷を見直す機会の提供と後世に伝えていきたい今の豊田市の姿を記録しました。

また、平成27年は新豊田市誕生10周年であり、豊田市の財産である過去の入賞作品を市民の皆様に見ていただける機会を提供しました。

#### (3) 地域住民の主体的、創造的な芸術活動を支援・奨励するため助成を行う事業

##### 主な事業

###### ○ 市民参加事業（文化事業課）

公募により「とよた総合文化フェスティバル」への参加を認定された市民団体の文化行事に対して助成を行い、文化・芸術活動の支援・奨励を行いました。

###### ○ 文化団体活性化事業（文化事業課）

文化団体の開催する事業を後援し広くPRするなど、地域で活動する文化団体を様々な角度から助成することで自立と活性化を推進し、文化による地域づくりを支援しました。

## 【4 地域文化に関する調査及び情報の提供を行う事業：定款第4条第4号事業】

地域文化に係る調査・資料収集を行い、その情報を市民に提供することによって、文化・芸術情報を探して市民の方々に提供し、もって地域文化の保存、伝承及び普及を図りました。

### (1) 地域文化の保存、伝承及び普及を図るために調査、資料収集を行う事業

#### 主な事業

##### ○ とよた定点観測（視聴覚ライブラリー）

毎年4月1日に豊田市駅周辺の定められた場所でのビデオ撮影、また、年間を通じて豊田市全域の定められた場所で写真撮影をし、街並みや自然、人々の生活を捉え、継続的なデータ保存を行いました。

### (2) 地域文化の保存、伝承及び普及を図るために情報の提供を行う事業

#### 主な事業

##### ○ 文化情報誌「カレント」発行（文化事業課）

市内の文化情報を網羅した情報誌を年4回発行し、地域の文化・芸術情報の提供を行いました。平成26年度から増やした発行部数を確保し市民に広く情報提供するため広告掲載を継続しました。また、さらなる情報収集などにより、分かりやすく、かつ充実した紙面作りに努めました。

##### ○ C A T V文化情報番組制作（文化事業課）

地域文化を市民サイドから考える文化情報番組を制作し、ひまわりネットワークで放映しました。地域住民へ地域文化の保存、伝承及び普及を図るために情報の提供を行うとともに、財団が主催する事業をPRしました。

## 【5 青少年育成施設等を活用して、青少年の社会性と豊かな情操を養う機会と場を提供する事業：定款第4条第5号事業】

子どもたちを取り巻く社会環境が大きく変化する中、青少年の健全な育成を図るために、家庭、学校、地域社会が連携を密にし、子どもたちの自立と社会参加を促す努力を重ねることが求められています。青少年育成施設等を活用して青少年の健やかな成長を育むため、講座や体験活動を実施し、併せて自立支援・相談体制を強化し、青少年の社会性と豊かな情操を養う機会と場の提供を行いました。

### (1) 青少年の健全育成を図るための機会の提供を行う事業

#### 主な事業

##### ○ 若者フェス（青少年センター）

新たな利用者層の掘り起こしを狙いとした「若者フェス」を開催する中で、青少年サークルや青年有志のノウハウを活用し、青少年の活動と交流の促進を図りました。

##### ○ 高校生ボランティアスクール（青少年センター）

保育・福祉・レクリエーション・ものづくりの4コースのボランティア体験活動を提供し、他者への思いやりと自ら行動できる青少年を育成しました。

##### ○ 小学校、中学校の宿泊を伴う体験活動（総合野外センター）

小学校5年生のキャンプ、中学校1年生の宿泊学習の目的の達成のために、施設・自然を活かした活動の支援や指導者を対象とした研修を実施しました。

##### ○ 六所のつどい・山の子学級・チャレンジキャンプ（総合野外センター）

集団での野外活動体験を通して、自然のすばらしさや大切さを知るとともに、仲間づくりや協力することの意義を学び、子どもたちの社会性や豊かな人間性の育成を図りました。

##### ○ プラネタリウム投映事業（産業文化センター）

子どもから一般成人まで幅広い世代、ニーズに対応した番組を企画し、投映しました。

また、生解説のオリジナル番組「星空散歩」をはじめ、若手演奏家とのコラボレーションによる「星空散歩ライブ」、「ママとキッズのはじめてのプラネタリウム」、「演劇プラネタリウム」、「外国語DEプラネタリウム」など利用層の拡大を図りました。

##### ○ ワークショップ（産業文化センター）

大学や高専などの教育機関やサイエンスに関わる団体との連携を深め、子どもたちの学びの段階に応じたサイエンス事業を提供しました。

○ サイエンススクール（産業文化センター）

中学校や高校の科学部が通年でサイエンスショーに取り組みました。成果発表の場として、豊田市科学技術教育振興会との共催による「サイエンスカーニバル」の中で、「サイエンスコンテスト」を実施しました。

○ 放課後児童クラブ運営事業（北東部ブロック）

放課後児童クラブでは、通常運営に付加して長期休暇時を中心に、音楽体験（声楽コンサート、手作り楽器での共演）、科学体験（天文・サイエンス・ものづくり）、野外活動（竹細工、レクリエーションゲーム等）などのプログラムを届け、参加児童の知的好奇心、自活力、コミュニケーション力の育成を図りました。

## 【6 青少年音楽団体の運営及び青少年団体に対する助言 その他の支援を行う事業：定款第4条第6号事業】

青少年の健やかな成長を育むため、少年少女合唱団、ジュニアマーチングバンド、ジュニアオーケストラ、子ども会、ボーイスカウト、ガールスカウトなどの青少年団体の運営を側面的に支援し活動の活性化をサポートしました。

### (1) 音楽活動を通じて青少年の情操教育を図る事業

#### 主な事業

##### ○ 豊田市青少年音楽活動実施事業

音楽3団体の活動を企画運営し、演奏活動を通して青少年の豊かな情操を養うとともに、定期演奏会、各種イベント出演などを通して社会参加を果たし、豊田市の青少年の音楽活動の中心となり、音楽文化の向上に寄与しました。

###### ①豊田市少年少女合唱団（文化事業課）

平成27年度は20名程団員が増え、定期演奏会、声楽アンサンブルコンテスト、各種イベントへの出演に加え、「宝塚国際室内合唱コンクール」の近現代部門に出場し、全部門を通しての総合2位、並びに国内参加合唱団の最高位に授与される兵庫県知事賞を獲得することができました。また、様々な団体と交流を図りながら、レベルの向上に取り組むとともに、豊かな心を育み、市民に親しまれ感動していただける活動を行いました。

###### ②豊田市ジュニアマーチングバンド（文化事業課）

平成27年度設立20周年を迎える、定期演奏会のほか、地域に密着したイベントなどへ積極的に参加しました。また、マーチング東海大会をはじめとする各種大会への参加と4年連続の全国大会への出場を達成しました。そのほか、夏季合宿を始めとする年間を通じた活動の中で、青少年の豊かな情操を養いました。

###### ③豊田市ジュニアオーケストラ（コンサートホール・能楽堂）

夏と春の定期演奏会のほか、アンサンブルによる地域への訪問演奏など多くの市民に親しまれる活動を行いました。また、豊田市とデトロイト市との「姉妹都市提携55周年記念事業」の一環としてデトロイト市を訪問し親善演奏会を開催しました。

## (2) 青少年団体の育成支援を行う事業

### 主な事業

- レクリエーション団体指導者派遣事業（青少年センター）

レクリエーション団体との定例の情報交換会の開催と、子ども会等からの要請に対応する団体派遣の調整を行い、地域での子ども会活動の支援を行いました。

- 豊田市青少年団体傷害互助会事業（青少年センター）

青少年団体の活動の安全確保と事故防止のため、安全意識の高揚を図るとともに、不慮の事故に対して見舞金等の給付を行い、青少年団体の支援を行いました。

- キャンプインストラクター養成講習会（総合野外センター）

（公社）日本キャンプ協会と連携して野外活動の基本的な知識、安全や技能の実践的な講習を行い、野外活動指導者の育成を図りました。

## 【7 生涯学習施設を活用して、生涯学習の機会と場を提供する事業 ：定款第4条第7号事業】

生涯学習施設を活用して、豊かな生涯学習社会を実現するため、幅広い年代の市民の高度で多様な学習要求や現代的課題（健康、環境、子育て、地域課題など）に対応した講座・セミナーを開催し、市民自らが主体的に関わることができる生涯学習活動の機会と場を提供しました。

### （1）市民に生涯学習の機会を提供する事業

#### 主な事業

- 家庭教育講座、子ども・高齢者向け講座、  
環境・防災・防犯講座、ボランティア養成講座等（交流館）

市民一人ひとりが自分らしく充実した社会生活を営むため、生涯にわたり、いつでもどこでも自由に学び活動できる機会を提供しました。地域活動の拠点、地域交流の場として、地域住民がお互いにつながりを持ちながら、地域のために自らが持つ力を発揮しあう場の提供をするとともに、人が輝き、環境にやさしく、躍進するまちを描きながら、「人づくり」、「地域づくり」、「生きがいづくり」、「地域活動の担い手づくり」を目的とした事業を実施しました。

また、財団のスケールメリットを活用し、各施設のノウハウを集約する中で自主事業として青少年センターと共に「キッズタウン」を2館で開催しました。

（事業数462件）

## 【8 公益目的事業の推進に資する事業：定款第5条事業】

中学校区ごとに設置されている交流館において、同じく中学校区を単位として組織される地域住民の主体的運営によるコミュニティ会議の事務局業務を担い、地区コミュニティ会議運営に対する相談・助言など、地域社会の健全な発展に必要な支援を行いました。

### (1) 地域社会の健全な発展を促すため、地区コミュニティ会議に対する相談・助言、その他必要な支援を行う事業

#### 主な事業

##### ○ 地区コミュニティ会議事務局（交流館）

地域住民の住みよいまちづくりに向け、コミュニティ会議や地域で活動する団体等とコミュニケーションを図り、地域の活性化や課題解決に結びつける事業を展開しました。

### (2) 指定管理者として管理運営を受託した施設等を公益目的事業以外に貸与する事業

#### 主な事業

##### ○ 各指定管理施設の管理運営

関係法令・条例等を遵守しつつ、市民の利益を第一優先に考えた柔軟で弾力的な施設運営を推進しました。また、市民が安全で快適に利用できるよう、きめ細かな施設運営を推進するとともに、市民の立場に立ち、公平・公正な施設管理を推進しました。

### (3) 飲料水の販売に関する事業

#### 主な事業

##### ○ 自動販売機による飲料水の販売

市民サービスの一環として、これまでの市民文化会館、総合野外センター、産業文化センター、高橋運動広場、末野原運動広場、足助トレーニングセンター及び上郷公園に加え、新たに青少年センターにおいても飲料水の販売を行いその収益を公益目的事業の財源等に充当しました。

## 【9 会議】

### (1) 評議員会

名 称	期 日	会 場	内 容
6月 定時評議員会	6月 25日	市民文化会館 会議室A	議案第1号 平成26年度公益財団法人豊田市文化振興財団決算について 議案第2号 公益財団法人豊田市文化振興財団定款の一部改正について 議案第3号 公益財団法人豊田市文化振興財団理事及び監事の選任について 議案第4号 公益財団法人豊田市文化振興財団評議員の選任について

### (2) 理事会

名 称	期 日	会 場	内 容
5月 定時理事会	5月 29日	市民文化会館 会議室A	議案第1号 公益財団法人豊田市文化振興財団給与規則の一部を改正する規則について 議案第2号 公益財団法人豊田市文化振興財団再任用職員給与規則の一部を改正する規則について 議案第3号 公益財団法人豊田市文化振興財団特別任用職員給与規則の一部を改正する規則について 議案第4号 平成26年度公益財団法人豊田市文化振興財団事業報告及び決算について 議案第5号 平成27年6月定時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項について
6月 臨時理事会	6月 25日	市民文化会館 会議室A	議案第6号 公益財団法人豊田市文化振興財団理事長の選定について 議案第7号 公益財団法人豊田市文化振興財団副理事長の選定について 議案第8号 公益財団法人豊田市文化振興財団専務理事の選定について 議案第9号 公益財団法人豊田市文化振興財団事務処理規則等の一部を改正する規則について
12月 臨時理事会	12月 18日	コンサート ホール・能楽堂 多目的ルーム	議案第10号 公益財団法人豊田市文化振興財団特定個人情報取扱規則について 議案第11号 平成27年度公益財団法人豊田市文化振興財団補正予算について

3月 定時理事会	3月 22 日	市民文化会館 会議室A	議案第12号 公益財団法人豊田市文化振興財団組織規則の一部を改正する規則について 議案第13号 公益財団法人豊田市文化振興財団事務処理規則の一部を改正する規則について 議案第14号 公益財団法人豊田市文化振興財団特別任用職員就業規則の一部を改正する規則について 議案第15号 公益財団法人豊田市文化振興財団旅費規則の一部を改正する規則について 議案第16号 平成27年度公益財団法人豊田市文化振興財団補正予算について 議案第17号 平成28年度公益財団法人豊田市文化振興財団事業計画、収支予算並びに資金調達及び設備投資の見込みについて 議案第18号 平成28年度公益財団法人豊田市文化振興財団表彰について 議案第19号 総務部長及びこれに相当する職にある職員の任免について
3月 臨時理事会	3月 28 日	決議の省略の方法による	議案第20号 公益財団法人豊田市文化振興財団給与規則の一部を改正する規則について 議案第21号 公益財団法人豊田市文化振興財団再任用職員給与規則の一部を改正する規則について 議案第22号 公益財団法人豊田市文化振興財団特別任用職員給与規則の一部を改正する規則について

### (3) 監事会

名 称	期 日	会 場	内 容
監 事 会	5月 21 日	市民文化会館 会議室A	平成26年度業務監査及び決算監査について

### (4) 表彰委員会

名 称	期 日	会 場	内 容
表 彰 審 査 会	3月 10 日	市民文化会館 会議室A	平成28年度文化表彰、青少年表彰及び特別表彰の審査について

(5) 文化振興委員会

名 称	期 日	会 場	内 容
第1回 文化振興委員会	5月22日	市民文化会館 会議室A	平成26年度事業報告について 平成27年度事業計画について 平成27年度モニタリング事業について ほか
第2回 文化振興委員会	10月1日		平成28年度事業計画案について ほか
第3回 文化振興委員会	2月16日		平成27年度モニタリング事業の評価報告について 平成28年度事業計画並びに予算案について ほか

(6) 青少年育成委員会

名 称	期 日	会 場	内 容
第1回 青少年育成委員会	6月13日	青少年 センター 会議室B	平成26年度事業報告について 平成27年度事業計画について 平成27年度モニタリング事業について ほか
第2回 青少年育成委員会	9月5日	青少年 センター 会議室A	平成27年度モニタリング事業の評価報告について 平成28年度事業計画について
第3回 青少年育成委員会	2月6日	青少年 センター 会議室C	平成27年度モニタリング事業の評価報告について 平成28年度事業計画について 平成28年度モニタリング事業について ほか

(7) コンサートホール・能楽堂企画運営委員会

名 称	期 日	会 場	内 容
第1回 企画運営委員会	7月15日		平成27年度基本方針について 平成27年度事業計画について ほか
第2回 企画運営委員会	9月11日	コンサートホール 多目的ルーム	平成28年度事業計画について ほか
第3回 企画運営委員会	3月2日		平成27年度事業報告・総括について 平成28年度事業計画について ほか

### III 平成27年度事業報告の附属明細書

#### 1 文化事業課

文化活動のコーディネーターとして、豊田市の文化・芸術の特性や市民ニーズに合った文化事業を行うとともに、行政や市民の方々との連携・協力により、それぞれの地域の活性化に向け効果的な文化事業を積極的に展開しました。

##### ■事業

「市民が文化・芸術に触れる機会と場を提供する事業」、「文化・芸術に関する知識及び技能の習得を図る事業」、「青少年音楽団体の育成事業」を中心に幅広い文化事業を展開しました。

平成27年度は、6年目となる「農村アートプロジェクト」を始め、新たに「全国地芝居サミット」、「全国竹とんぼ競技会」の開催など豊田市の文化を全国に発信しました。また、「豊田市少年少女合唱団」、「豊田市ジュニアマーチングバンド」の運営を始め「文化活動者派遣事業」、「演劇アカデミー」など、文化による青少年・人材育成にも一層努力するとともに、市民と文化活動者、学校、文化ボランティアなど様々な領域をつなぐ役割を果たしてきました。

#### 事業一覧

##### 【文化施設等を活用して、市民が文化・芸術に触れる機会と場を提供する事業】

事業名	期日	人数	内 容	事業区分
豊田芸術選奨受賞記念 安藤和久作品展	6月3日 ～7日	1,400人	博物館等 の展示	豊田芸術選奨受賞者の芸術について広く市民に鑑賞の機会を提供するため、展覧会を開催した。
第15回とよた ストーリーテリング フェスティバル	8月29日 ～9月6日	566人	自主公演	語りや音楽などで民族の誇りや伝承文化を伝えるストーリーテラーによる移動公演を開催した。
農村舞台 アートプロジェクト 2015	9月13日 ～27日	1,450人	博物館等 の展示	地域活性化を推進するため農村舞台を使いライブ又はアート展を開催した。(市民文化会館と連携)
第14回 豊田工芸作品展公募展	10月8日 ～11日	1,939人	博物館等 の展示	多様化する現代工芸の世界を市民に広く知っていただくとともに展出できる場を提供した。
豊田市民音楽祭 2015	12月12日 ～13日	1,112人	自主公演	市民による参加型のジャンルを問わない音楽祭を開催した。
第26回 歳末チャリティー 作品展	12月4日 ～6日	585人	博物館等 の展示	文化団体の作品を廉価で頒布し、その収益を東日本大震災義援金として寄附した。
第19回 国際交流写真展	2月12日 ～14日	800人	博物館等 の展示	韓国仁川市の女性写真家グループととよたレディースフォトクラブによる草の根の国際交流写真展を開催した。
第40回お茶と花と 文化講演の集い	3月12日 ～13日	3,102人	博物館等 の展示	文化講演を聴き、お茶と花に親しみ伝統文化の普及を図った。 (市民文化会館と連携)

\*事業区分について:自主—当財団独自の事業、共催—豊田市との共催事業、受託—豊田市から委託を受けて実施する事業

市民ギャラリー展	5月22日 ～24日 6月19日 ～21日	合同 654人 総合 374人	博物館等 の展示	文化団体による作品展示を奨励し、ギャラリーの活性化を図る作品展を開催した。	共催
とよた こども創造劇場	稽古 5～11月 公演 11月8日 3月30日	公演 1,305人 受講生 延べ 2,776人	自主公演	表現力を培う演劇により青少年の健全育成を図るとともに、子どもによる演劇公演を開催した。	共催
こどもによる 日本の伝統芸能	7月29日	400人	自主公演	小中学校で日本の伝統芸能を学ぶ子どもたちを集め発表会を行い、後世への伝統芸能の継承を図った。(青少年センター事業、こども茶華道教室と同時開催)	共催
とよた市民 芸能交流大会	10月25日	500人	自主公演	新市域の下山地区で芸能交流大会を開催し地域文化の活性を図った。(下山交流館と連携)	共催
ジュニア プラスコンサート	11月3日	1,500人	自主公演	小学校金管バンドによる演奏会を開催した。	共催
吹奏楽 フェスティバル 2015	10月24日	1,030人	自主公演	豊田加茂吹奏楽連盟による中学校と高等学校吹奏楽の演奏会を開催した。	共催
野外箏曲演奏会	11月1日	500人	自主公演	市民茶会を彩る箏曲演奏会を開催した。	共催
第26回全国地芝居 サミットIN豊田	11月28日 ～29日	1,350人	自主公演	地域文化の活性化及び地芝居存続団体の交流と伝統文化を広く全国に発信した。	共催

#### 【文化・芸術に関する講座の開催等、文化・芸術に関する知識及び技能の習得を図る事業】

事 業 名	期 日	人 数	内 容		事 業 区 分
第54回全日本 かるた選手権大会	4月19日	144人	競技会	名人戦・選抜大会と並ぶ全国三大競技かるた大会に発展した大会。全日本かるた協会と共に開催した。	自主
民謡を唄う会	6月24日～ 12月9日 (全6回)	234人	講座、 セミナー、 育成	民謡の持つ明るさ、楽しさを知つていただき、楽しく分かりやすい講習会を開催した。	自主
音楽練習場運営事業	通 年	23,058人	講座、 セミナー、 育成	音楽団体の育成と音楽練習場の運営を行った。	自主
舞台芸術人材育成事業 とよた演劇アカデミー	講座 5～2月 公演 2月7日	公演 391人 受講生 延べ 1,037人	講座、 セミナー、 育成	演劇人の養成及び演出、プロデューサー、広報など幅広い人材を育成する講座を開催した。(市民文化会館と連携)	共催
文化活動者派遣事業	6～3月	4,412人	体験活動等	市内小中学校等へ文化活動者のワークショップを出前した。 (市民文化会館と連携)	共催

第11回 とよたふれあい 将棋フェスティバル	6月20日	192人	競技会	子どもによる将棋対局や指導将棋など親子のふれあいの機会提供と将棋の普及を図る機会を提供了。	共催
第47回 市民民踊講習会	6月14日	1,300人	講座、 セミナー、 育成	地域や職域で開催する盆踊り大会のため、新作等を取り入れた踊りの講習会を開催した。	共催
第15回 夏休みこども博覧会	7月29日 ～8月3日	4,276人	体験活動等	絵本の読み聞かせや展示、ワークショップによる手作りのこども博覧会を開催した。	共催
第33回 全国竹とんぼ 競技大会 I N 豊田	10月10日	108人	競技会	スーパー竹とんぼの競技参加を通じ、モノづくり文化の芽を育んだ。	共催
秋季市民茶会	11月1日	1,108人	体験活動等	市民が気軽に茶の湯に親しむ茶会を開催した。	共催
第36回 とよた囲碁まつり	2月14日	157人	競技会	クラス別の囲碁対局やプロ棋士の指導碁を通じて市民の交流を図る機会を提供了。	共催
子どものアート体験 プログラム	7月12日～ 12月6日 (全11回)	298人	体験活動等	ワークショップを開催し、子どもたちに文化・芸術体験の機会を提供了。	共催

#### 【文化・芸術の振興に関する表彰、助成等を行う事業】

事業名	期日	人数	内 容	事業区分
平成27年度財団大会	6月7日	420人	表彰、 コンクール	財団の基本方針を内外に示すとともに、地域の文化振興や青少年健全育成に業績を挙げた功労者を表彰し称えた。
第13回全国高校生 付け句コンクール	7～9月	応募数 6,958人	表彰、 コンクール	全国の高校から付け句を募集しコンクールを開催した。
市民参加事業	9～11月	34団体 29,849人	助成 (応募型)	市内公募により参加を認定された市民団体の文化行事に助成を行った。
市民俳句会秋季大会	11月3日	51人	表彰、 コンクール	公募による俳句大会を開催した。
市民短歌大会	11月3日	44人	表彰、 コンクール	公募による短歌大会を開催した。
とよた連句まつり	10月27日	27人	表彰、 コンクール	市民参加による連句まつりを開催した。
第27回とよた ビデオコンテスト	12月12日	応募数 44人 表彰式 70人	表彰、 コンクール	全国公募のビデオコンテストを開催し、表彰及びビデオ入賞者作品の発表会を開催した。 (視聴覚ライブラリーと連携)
文化団体活性化事業	通年	3団体	助成 (応募型)	文化団体の活動を様々な角度からサポート。文化団体の自立と活性化を推進した。

第23回とよたフォトドキュメント2015	2月5日 ～7日	応募数 163人 来場 283人	表彰、 コンクール	豊田市内の出来事や市民の生活・風習を捉えた写真の公募展を開催した。	共催
----------------------	-------------	---------------------------	--------------	-----------------------------------	----

【地域文化に関する調査及び情報の提供を行う事業】

事業名	期日	人数	内 容	事業区分
文化情報誌 「カレント」発行	季 刊	各 3,000部	調査、 資料収集	市内で開催されるあらゆる文化情報を網羅した情報誌を発行し、情報の提供を行った。
CATV 文化情報番組制作 「豊田文化アワー」	通 年	-	調査、 資料収集	地域文化を市民サイドから考える文化情報番組を制作、ひまわりネットワークで放映し情報の提供を行った。

【青少年音楽団体の運営及び青少年団体に対する助言その他の支援を行う事業】

事業名	期日	人数	内 容	事業区分
豊田市青少年 音楽活動実施事業 (少年少女合唱団運営)	通 年	団員数 134人	体験活動等	定期演奏会(1,000人)、宝塚国際室内合唱コンクールのほか、各種イベント出演などの活動を行った。
豊田市青少年 音楽活動実施事業 (マーチングバンド運営)	通 年	団員数 100人	体験活動等	定期演奏会(1,400人)、マーチング三河大会のほか、各種イベント出演などの活動を行った。

## 2 市民文化会館

豊田市の文化芸術の拠点施設のひとつとして、創造性豊かで潤いと活力に満ちた市民生活の実現へ向けた取組を推進することによって、文化的にぎわいを創出し文化によるまちづくりに貢献しました。そのために、市民が文化芸術に触れる機会の提供、市民の主体的な文化芸術活動の支援、「安全」・「安心」・「快適」な施設の提供に努力を重ねました。

### ■事業

ホール施設を有効活用し、音楽・演劇・芸能・講演などの優れた文化芸術の鑑賞事業を開催することにより、市民が文化芸術の良さを身近に感じる機会を提供しました。

平成27年度は、市民に好評な事業は引き続き効果的に実施するとともに、新たな事業として「松竹大歌舞伎公演」、「宝塚歌劇団公演」に取り組みました。

### ■施設運営

市民の主体的な利用に対しては、公平公正な運営基準の下、利用者の立場に立った心のこもったおもてなし対応と支援を行うとともに、利用者のご意見ご要望の把握に努め、より一層親しまれる施設となるよう取り組みました。

また、「安全」・「安心」・「快適」な施設の提供には、日常的な施設・設備等の点検はもとより、職員の意識・能力・専門性を高め、危機管理のさらなる強化に取り組みました。

### 事業一覧

#### 【文化施設等を活用して、市民が文化・芸術に触れる機会と場を提供する事業】

事業名	期日	人数	内 容	事業区分
松竹大歌舞伎公演	プレセミナー 6月9日 本公演 7月18日	プレセミナー 187人 本公演 1,521人	主催公演  「四代目中村鴈治郎襲名披露」公演と銘打ち、演目は「双蝶々曲輪日記～引窓」ほか。日本芸術の財産である歌舞伎を気軽に楽しむ機会を提供した。この公演の普及事業として、「葛西聖司プレセミナー」を6月9日に開催した。	自主
宝塚歌劇団公演	12月9日	3,316人	主催公演  宝塚歌劇 雪組全国ツアー豊田公演(CBCとの共催事業)。上質な歌劇を身近に楽しむ機会を提供した。	自主
とよた寄席	1月7日	415人	主催公演  市民ニーズの高い落語家等を招へいし、良質な伝統芸能に親しむ機会を提供した。	自主
おかあさんといっしょ ポコポッティがやってきた	11月14日	3,047人	主催公演  テレビで馴染みの人気キャラクターによる楽しい歌のステージを実施し、親子で舞台芸術に親しむ機会を提供了。	自主
文化講演会 (第40回お茶と花と文化講演の集い)	3月13日	3,102人	自主公演  「第40回お茶と花と文化講演の集い」の文化講演会を開催した。市民ニーズに沿った講師を招き、文化について考える機会を提供了。 (文化事業課と連携)	自主

※事業区分について：自主—当財団独自の事業、共催—豊田市との共催事業

避難訓練とアニメ映画会	12月26日	104人	自主公演	お客様に参加いただき、より実際に近い状況で行うことで職員の危機管理能力を高めるための避難訓練映画会を開催した。	自主
舞台ウラ探検	8月30日 (2回)	① 15人 ② 12人	自主公演	文化施設に触れるきっかけづくり、また市民文化会館への親しみやすさをアピールする事業を開催した。	自主
農村舞台アートプロジェクト2015	9月・10月	1,450人	博物館等の展示	地域活性化を推進するため農村舞台を使いライブとアート展を開催した。 (文化事業課と連携)	自主
こころの劇場 劇団四季ミュージカル	7月30日	2,050人	主催公演	子どもたちが演劇を鑑賞し感動することで、「生きることの素晴らしさ」、「人を思いやり、信じあう喜び」について学び、道徳・情操教育に寄与するとともに、優れた舞台芸術に触れる機会を通じて、子どもたちの豊かな感性の育成を図る事業を開催した。(豊田市及び劇団四季との共催事業)	共催

#### 【文化・芸術に関する講座の開催等、文化・芸術に関する知識及び技能の習得を図る事業】

事業名	期日	人数	内容		事業区分
舞台芸術人材育成事業 とよた演劇アカデミー	講座 5～2月 公演 2月7日	公演 391人 受講生 延べ 1,037人	講座、 セミナー、 育成	演劇人の養成及び演出、プロデューサー、広報など幅広い人材を育成するための講座と公演を開催した。(文化事業課と連携)	共催
文化活動者派遣事業	6～3月	4,412人	体験活動等	市内小中学校等へ文化活動者のワークショップを出前した。(文化事業課と連携)	共催

#### 利用実績

##### ○市民文化会館

施設名	件数	人數	利用内容
大ホール	210	161,591	演奏会・講演会・研究大会等
小ホール	254	58,628	ピアノ発表会・講演会等
展示室A	177	40,760	絵画・彫塑・書道・花展等
展示室B	199	23,906	"
リハーサル室・練習室	616	42,755	音楽・舞踊等各種リハーサル
会議室・和室	440	6,662	茶華道・会議等
計	1,896	334,302	

##### ○市民ギャラリー

施設名	件数	人數	利用内容
展示室A・B・C	458	30,693	絵画・彫塑・書道・花展等

##### ○総合計

総合計	2,354	364,995
-----	-------	---------

### 3 視聴覚ライブラリー

地域文化に関する調査及び情報の収集を行うとともに、今までに情報収集した映像のデジタル化の選別作業を行い、映像教材として保存活用を図りました。また、映像媒体を有効活用するための各種講習会等を通じて、市民自らが取得した技術を活かしたボランティア活動により、調査及び情報の収集の発展につながるよう事業の展開を図りました。

#### ■事業

継続的な文化の伝承を目的に、人物記のPRや、地域の伝統文化などの記録を収集しました。また、各種講習会などを通して、映像ボランティアの育成にも力を注ぎました。収集した映像情報は「視聴覚たより」、「視聴覚教育要覧」、「ホームページ」、「子ども映画会」などの活用により、市民を始め、学校教育現場、生涯学習分野（交流館・子ども会等）へ広く発信することに努めました。

#### ■施設運営

視聴覚教材、機材の貸出しだけでなく、利用上の相談・利用指導・講習会などきめ細かな市民サービスに努めました。また、市民の文化活動を推進するため、利用者の皆様が、快適で安全にご利用していただけるよう、常に良好な状態を維持するとともに、市民の皆様により親しまれるよう、市民ニーズに沿ったサービスの提供と利用促進を目指しました。

#### 事業一覧

##### 【文化施設等を活用して、市民が文化・芸術に触れる機会と場を提供する事業】

事業名	期日	内容		事業区分
ロビー展示	通年	博物館等の展示	利用者の活動内容を紹介し、作品等を展示了。	自主
映画塾	年2回	自主公演	映画のレクチャーを通じて人生の喜びや悲しみを知り、感動を得る教養講座を実施した。 (957名参加)	自主

##### 【文化・芸術の振興に関する表彰、助成等を行う事業】

事業名	期日	内容		事業区分
第27回とよたビデオコンテスト	12月	表彰、コンクール	全国公募のビデオコンテストを開催し、表彰及びビデオ入賞者作品の発表会を行った。(文化事業課と連携)	自主

※事業区分について:自主—当財団独自の事業、受託—豊田市から委託を受けて実施する事業

【地域文化に関する調査及び情報の提供を行う事業】

事業名	期日	内容		事業区分
とよた定点観測	4月	調査、資料収集	毎年4月1日を観測日に定め、豊田市の変遷を写真とビデオで記録した。 (豊田アーカイブ)	自主
アウトリーチ事業 映像による郷土学習	通年	調査、資料収集	他施設の講座への企画協力(ライブラリーが作成した作品の上映)を通して利用の促進を図った。	自主
子ども映画会	8月	調査、資料収集	とよたの人物記を広くPRするため、人気アニメを同時上映する『子ども映画会』を実施し、参加者増を図った。 (155名参加)	受託
ビデオ講習会他 各種講習会	通年	講座、セミナー、 育成	視聴覚機器活用の裾野を広げるために、ビデオ講習会などを実施し、記録映像等の活用を促進をした。	受託
視聴覚より及び 視聴覚教育要覧発行	たより 月1回 要覧 年1回	調査、資料収集	ライブラリー情報として、毎月発行のたよりと、前年度の記録を中心とした要覧を発行することにより、ライブラリー利用の促進を図った。	受託
映像教材の収集と アーカイブ化	通年	調査、資料収集	地域の伝統文化や芸能、それを担った人たちなどの映像記録を収集するとともに、現在保有している教材等のための選別作業を行った。	受託

利用実績

施設名	件数	人数	利用内容
編集スタジオ	647	772	CDコピー・16ミリフィルム・VTR編集
教材・機材貸出	911	(911本)	プロジェクター・16ミリフィルム等貸出し
集会室・研修室等	2,947	72,024	会議・研修会・講演会等
計	4,505	72,796	

## 4 コンサートホール・能楽堂

豊田市の音楽、伝統芸能の拠点施設として「本物の芸術・文化との出会い」、「伝統文化の継承」、「市民参加による芸術・文化の創造」を3本柱に、独自性のある魅力的な事業を開催し、音楽文化の向上と伝統文化の継承に努めました。

### ■事業

世界的な一流の芸術家による公演と親しみやすい公演のバランスを重視しながら、独自性の高い事業企画を目指すとともに、音楽団体や保存会等との共働により、地域文化の創造につながる事業を開催しました。また、子どもから高齢者まで気軽にクラシック音楽や伝統芸能を楽しむ体験できる事業を提供し、文化・芸術に興味を持つ市民層の拡大を図りました。

### ■施設運営

市民の文化活動の促進を図るために、利用手続や利用方法において利用者側の立場に立った助言・指導を行い、利用率向上を図ると共に、利用者に施設運営・設備に関するアンケートを実施し、意見・要望を把握することで、より使いやすい快適な施設運営に努めました。

### 事業一覧

【文化施設等を活用して、市民が文化・芸術に触れる機会と場を提供する事業】

事業名	期日	人数	内 容	事業区分
世界音楽の旅 シリーズ⑥ パシオン・フラメンカ ～情熱と哀愁の フラメンコ～	4月25日	853人	主催公演 舞踊家5名、歌手2名、ギタリスト2名によるスペイン南部アンダルシア地方、本場のフラメンコを開催した。	共催
さつき能 事前講座	4月18日	50人	講師／羽田昶 能「安宅」／観世鍊之丞（観世流） 狂言「柑子」／井上松次郎（和泉流） を開催した。	共催
特別公演 さつき能	5月2日	354人		
北村英治 プレミアム ジャズ コンサート	6月5日	560人	自主公演 ディキシーからモダン・スティング、近年ではクラシックまで演奏する北村英治のクラリネット・サウンドと軽妙なトーク付きコンサートを開催した。	共催
能楽堂で見る伝統芸能 シリーズ32 「京劇の世界」	6月6日	435人	自主公演 日本でもおなじみの「孫悟空」に加え、項羽と后（きさき）であると云ふ虞姫（ぐき）の別れを描いた「霸王別姫」の公演を開催した。	共催
タリス・スコラーズ	6月13日	549人	主催公演 結成40年、世界のア・カペラ合唱界の最高峰11名による合唱公演を開催した。	共催
小菅 優 ピアノ・リサイタル	6月27日	595人	主催公演 高度なテクニックと美しい音色、若々しい感性と深い解釈で、現在最も注目を浴びている若手女流ピアニストの公演を開催した。	共催

※事業区分について:共催—豊田市との共催事業、受託—豊田市から委託を受けて実施する事業

ウィーン&ベルリン 室内楽シリーズ 第1回 「ウォルフガング・トムベック」	7月5日	529人	自主公演	ウォルフガング・トムベック（ウィーン・フィル ホルン奏者）、郷古廉（ヴァイオリン）、滝澤志野（ピアノ）によるリサイタルを開催した。	共催
納涼能 事前講座	6月21日	97人		講師／村瀬和子（詩人）	
七月公演 納涼能	7月18日	274人	自主公演	能「鶴飼」／廣田幸稔（金剛流） 狂言「茄子」／野村又三郎（和泉流） を開催した。	共催
夏休み親子で楽しむ わくわく能楽体験	8月29日	279人	自主公演	公演鑑賞とワークショップで能楽に親しむ親子向けイベントを開催した。	共催
徳岡めぐみ オルガン・リサイタル ～進化するプロジェクト・マッピングとの融合～	9月2日	612人	自主公演	コンサートホール・オルガニストによる企画コンサート、プロジェクト・マッピングとのコラボレーションにて開催した。	共催
豊田市民 クラシックコンサート	9月12日 ・13日	1,823人	自主公演	市内在住・在勤・在学・出身のクラシック音楽演奏愛好家によるコンサートを開催した。	共催
東京混声合唱団 「日本の歌」	9月19日	555人	自主公演	心に響く美しいメロディと懐かしく情緒豊かな日本の歌を合唱で開催した。	共催
十五夜能 事前講座	9月5日	49人		講師／石淵文恵（能楽ライター）	
秋公演 十五夜の能	9月25日	425人	自主公演	能「小督」／金井雄資（宝生流） 狂言「宗論」／野村萬斎（和泉流） を開催した。	共催
ピーター・ゼルキン ピアノ・リサイタル	10月4日	304人	主催公演	アメリカ出身の名ピアニストによる、柔軟さと円熟味の加わった最高レベルの公演を開催した。	共催
ポーランド国立 ワルシャワ室内歌劇場 オペラ「魔笛」	10月10日	782人	主催公演	モーツアルト作品を最も得意とする歌劇場によるオペラ「魔笛」を開催した。	共催
能楽堂で見る演劇 シリーズ 「詠み芝居」	10月11日	206人	自主公演	壇晴彦主宰の演劇俱楽部「座」による、日本の文学作品の語りと芝居の公演を開催した。	共催
イ・ムジチ合奏団	10月25日	908人	主催公演	結成60年を超える世界で最も有名な弦楽アンサンブルによる公演を開催した。	共催
能楽堂で見る日本の伝統芸能シリーズ33 「平家琵琶の世界」	10月31日	368人	自主公演	八百年続く日本伝統文化で、平家物語を琵琶の伴奏に載せて節をつけて語る公演を開催した。	共催
ウィーン&ベルリン 室内楽シリーズ 第2回 ダニエル・オッテンザマー	11月8日	546人	自主公演	ダニエル・オッテンザマー（ウィーン・フィル首席クラリネット奏者）、鈴木秀美（チェロ）、クリストフ・トラクスラー（ピアノ）によるリサイタルを開催した。	共催

水戸室内管弦楽団	11月22日	696人	主催公演	日本を代表する室内オーケストラの演奏を指揮 広上淳一、ピアノ児玉桃にて開催した。	共催
十一月公演 霜月能	11月28日	395人	自主公演	朗読「源氏物語」／檀ふみ能「野宮」／大槻文藏（観世流）を開催した。	共催
市民演能会	12月5日・6日	183人 70人	自主公演	能楽愛好家の方々に発表の場を提供する市民参加型事業を開催した。	共催
狂言太閤記	12月12日	326人	自主公演	三英傑の中で最も人気の高い太閤秀吉の幼年期・青年期・壮年期を新作狂言として開催した。 狂言／茂山家	共催
ヘルムート・ドイチュ オルガン・リサイタル	12月19日	291人	自主公演	フライブルク音楽大学教授でもあるドイツのオルガン奏者による公演を開催した。	共催
ウィーン&ベルリン 室内楽シリーズ 第3回 ガポール・タルケヴィ	12月23日	622人	自主公演	ガポール・タルケヴィ（ベルリン・フィル首席トランペット奏者）、幸田浩子（ソプラノ）、徳岡めぐみ（パイプオルガン）によるリサイタルを開催した。	共催
ハンガリー・ブダペスト ・オペレッタ劇場 ニューイヤー・コンサート	1月9日	834人	主催公演	オペレッタの殿堂ハンガリー・ブダペスト・オペレッタ劇場によるエンターテインメント性にあふれる公演を開催した。	共催
新春能	1月10日	317人	自主公演	能「高砂」／金春安明（金春流） 狂言「末広かり」／善竹十郎（大蔵流）を開催した。	共催
名古屋フィル ハーモニー交響楽団 豊田市コンサートホールシリーズ Vol. 3	2月6日	612人	自主公演	名フィルが豊田市コンサートホールを会場にして行う豊田演奏会を開催した。 名フィルとの共催。	共催
コンサートホール・フェスティバル	2月14日	714人	自主公演	コンサートホール全館を公開して、ワークショップ・楽器体験・演奏会を開催した。	共催
狂言風オペラ2015 モーツアルト 「コシ・ファン・トゥッテ」	2月20日	595人	主催公演	日独両国で開催される和洋のコラボレーション企画、茂山狂言会とドイツ・カンマー・フィルハーモニー・ブレーメン管楽ゾリストンで開催した。	共催
チェコ・フィル・ ストリング・カルテット	2月28日	870人	主催公演	名門チェコ・フィルの名手によるクラシック名曲を弦楽四重奏にて開催した。	共催
とよた フレッシュ コンサート	3月13日	257人	自主公演	平成25年～27年に音楽専攻の大学を卒業した新人演奏家によるコンサートを開催した。	共催

ミッシェル・ベロフ ピアノ・リサイタル	3月19日	506人	主催公演	ドビュッシー、メシアンなどを最も得意とするフランスを代表する巨匠ピアニストの公演を開催した。	共催
三月定例公演 事前公座	3月5日	62人	自主公演	講師／石淵文恵（能楽ライター）	共催
三月定例公演	3月20日	341人		能「弱法師」／浦田保親（観世流） 狂言「二人袴」／野村真之介（和泉流） を開催した。	
ロビー コンサート	通年	3,056人	自主公演	市内各地で市民演奏家によるコンサートを開催した。（参合館ロビー、市役所ロビー、出前コンサート等）	共催
かーるくラシック イブニングコンサート	年6回	2,831人	自主公演	クラシックの名曲を気軽に親しむ60分のイブニング・コンサートを開催した。	共催
お昼の パイプオルガン コンサート	年4回	1,637人	自主公演	気軽にパイプオルガンの魅力に親しんでもらう60分のランチタイム・コンサートを開催した。	共催
アウトリーチ	年10回 程度	2,384人	自主公演	外来演奏家に市内小中学校などへ出向いてもらい、演奏・指導等していただきアウトリーチ・コンサートやプロの能楽師によるワークショップを開催した。	共催
豊田市 コンサートホール ・能楽堂企画運営	通年	47人	その他	専門家・市民代表で組織された企画運営委員会を開催し、市民に親しまれる事業づくりをした。	受託

【文化・芸術に関する講座の開催等、文化・芸術に関する知識及び技能の習得を図る事業】

事業名	期日	人数	内容	事業区分
オルガン演奏体験講座	7月22日 ・23日	20人	体験活動等	コンサートホールのジョン・ブランボー社製パイプオルガンを実際に演奏することのできる体験講座を開催した。
能楽入門講座	3月	22人	体験活動等	謡、仕舞の体験・習得講座を開催した。
みんなで歌おう 懐かしい歌を ～想い出が 寄り添う名曲～	5月9日 6月4日	262人	講座、 セミナー、 育成	懐かしい時代を反映するエピソードを交えつつ、懐かしい歌のオリジナルを聴き、一緒に歌う聴衆参加型講座を開催した。
能狂言が見たくなる 講座	年4回	293人	講座、 セミナー、 育成	様々な視点から能・狂言の魅力に迫る講座を開催した。
パイプオルガンを 楽しむための講座	年3回	477人	講座、 セミナー、 育成	オルガンへの興味を深め、より楽しんでもらうための映像と演奏を交えた講座を開催した。

ふらっと能楽堂	年3回	246人	講座、セミナー、育成	気軽に能楽・伝統芸能に親しむための初級者講座を開催した。	共催
---------	-----	------	------------	------------------------------	----

【青少年音楽団体の運営及び青少年団体に対する助言その他の支援を行う事業】

事業名	期日	人数	内容		事業区分
豊田市青少年音楽活動実施事業 (ジュニアオーケストラ運営)	通年	団員 61人	体験活動等	年2回の定期演奏会 (743人、834人) などの活動を行った。	受託

利用実績

施設名	件数	人数	利用内容
コンサートホール	205	66,333	コンサート等
能楽堂	71	14,981	能・狂言・その他邦楽等
多目的ルーム	143	7,537	講座・講演・ピアノ発表会等
リハーサル室 等	336	7,442	音楽・能楽・謡曲等のリハーサル
計	755	92,293	

## 5 青少年センター

青少年センターは、平成27年4月に産業文化センターに移転し、青少年健全育成の拠点施設として心機一転しました。高校生や大学生をメインターゲットに、青少年活動をまちづくりに活かせるよう、街のにぎわいや地域活動へのきっかけづくりとして「社会参画の場を提供」、ひきこもりや未婚・晩婚化など青少年の課題対応事業を開催し「自立支援を応援」、青少年の活動発信ができる「自立的な活動の場を確保」、人との交流の場として「居場所づくり」、青少年団体の拠点施設として「青少年活動の拠点づくり」の5つの機能を果たすべく事業展開に努めました。

### ■事業

新青少年センターは、街中の青少年活動の拠点施設として期待されています。居場所づくりは、フリーサロンを充実させ気楽に集まり交流できる環境を整備しました。ひきこもりや未婚・晩婚化に対応する事業は、若者サポートステーションや若者支援地域協議会の設置、出会いのための短期講座やイベントなどの事業を多数実施しました。大学生等の若い世代を活動に取り込む事業は、大学生共働事業の内容を充実させ開催しました。また青少年団体の共働事業として財団のスケールメリットを生かした「とよたキッズタウン」を2館の地区交流館で開催し支援しました。

### ■施設運営

改善運動への全員参加、危機管理マニュアルに基づいた各種訓練の実施、利用者懇談会・利用者アンケートの実施など、市民の安全・安心・快適な利用のために、効率的な管理運営と市民サービス向上に努めました。また、メール配信登録者への情報提供、ホームページの充実や利用相談窓口の整備など、情報発信機能の向上を図るとともに、職員の専門知識・能力向上のため専門研修への参加や職場研修を推進し、新しい施設での管理運営の基礎づくりをしました。

### 事業一覧

#### 【青少年育成施設等を活用して、青少年の社会性と豊かな情操を養う機会と場を提供する事業】

事業名	期日	人数	内容		事業区分
若者フェス	10月	出演者 150人 観客者 420人	体験活動等	青年サークルと共に若者の嗜好に合ったテーマでのイベントを開催し、新たな施設利用者層の掘り起こしを行うとともに青年サークルの活動促進を図った。	自主
ユースサポータークラブ	通年	4事業 参加者 882人	講座、 セミナー、 育成	青年企画事業を通じて青年自らが持つ知識や経験を活かす機会を提供することで青年利用者間の交流促進や施設運営でのサポーター的人材の育成を図った。	自主

※事業区分について:自主—当財団独自の事業、共催—豊田市との共催事業、受託—豊田市から委託を受けて実施する事業

交流館共働事業 「とよたキッズタウン」	12月 1月	①104人 ②329人	体験活動等	青少年センターが持つキッズタウン運営ノウハウを交流館と共に活かすことで、地域での青少年育成活動を活性化させる機会を提供した。また青少年団体の派遣を行った。	自主
ジュニア文化講座	6～1月 6回	17人 延76人	講座、 セミナー、 育成	文化・芸術を通してなしの心を育み、リーダーとして豊かな感性を育てた。年2回の活動発表の場あり（一部文化事業課と連携）	自主
自立支援 ジョブトレ事業	通年	11回 187人	体験活動等	自立を模索する若者の就業支援として、ジョブトレーニング等の軽作業体験の場を提供した。	共催
自立支援者養成講座	年3回	①31人 ②46人 ③29人	講座、 セミナー、 育成	保護司や民生児童委員、公募市民を対象に地域で若者を支える地域支援者を養成した。	共催
家族のための 自立支援講座	年5回	①4人 ②4人 ③8人 ④5人 ⑤52人	講座、 セミナー、 育成	自立を模索する若者の家族を対象に講座・講演会などを行い、家族で支えるための学びの機会を提供了。	共催
アウトドア講座	7～11月 5回	13人 延46人	講座、 セミナー、 育成	青年の興味ある活動（野外・スポーツ・文化など）を青年自身が企画し、市民に向けて実施することで体験学習し、青年の成長を支援した。次年度講座企画準備会を形成した。	共催
大学生共働事業	通年	5事業 397人	体験活動等	大学生からみた豊田のまちづくり、居場所づくりや仲間づくりなど直面する社会問題や成長課題解決に向けた社会活動を支援した。	共催
インターンシップ事業	8月	3人	体験活動等	近隣の大学との連携により、学生の社会教育学習のサポートを行った。	共催
レクリエーション 入門講座	9～2月 3回	①21人 ②18人 ③28人	講座、 セミナー、 育成	レクリエーション団体との共働により、子ども会などの催事で役立つレクリエーション、研修や会議で役立つ交流ゲームやアイスブレイク手法に関する講座を開催した。	共催
クリスマスパーティー	12月	男55人 女56人	体験活動等	青年実行委員会がクリスマス会を企画運営し、若者に男女の出会いと仲間づくりの場を提供した。	共催
出会いのイベント	9月 1回	男36人 女26人	体験活動等	スポーツ観戦を通じて若者に男女の出会いと仲間づくりの場を提供した。	共催

出会いの短期講座 (5講座) ①料理 ②ダンス ③食 ④陶芸 ⑤アウトドア	①料理 6月・ 7月 全4回 ②ダンス 8~10月 全7回 ③食 8月1回 11月2回 ④陶芸 1月・2月 全3回 ⑤アウトドア 10月 1回	①料理 男13人 女11人 延85人 ②ダンス 男3人 女1人 延19人 ③食 男32人 女28人 ④陶芸 男14人 女14人 延73人 ⑤アウトドア 男13人 女11人	体験活動等	気軽に参加できる「陶芸」「料理」「野外活動」などを通じて、男女の出会いと仲間づくりの場を提供了。内容により交流館との共働事業を実施した。	共催
高校生 ボランティアスクール	5~3月 各コース 13回	保育 62人 福祉 47人 レクリエーション 14人 ものづくり 5人 計 128人	講座、 セミナー、 育成	様々なボランティア活動や地域、社会参加を体験し、人とのふれあい・語らいを通して、自立心と思いやりをもった青少年を育成した。保育コース・福祉コース・レクコース・ものづくりコース（総合野外センター、産業文化センターと連携）	受託
中学生 ボランティア体験教室	10月 11月 2回	①2人 ②8人	体験活動等	イベント等でのボランティア活動を体験する機会を設け、ボランティア活動に対する関心の芽を育んだ。	受託
フリーサロン	通年	708人	体験活動等	青年サークル、高校生ボランティアらによる小・中学生の学習や遊びの支援と、青少年がくつろげるサロンづくりを行った。	受託
学習・卓球等 若者開放事業	通年	36,090人	施設の貸与	事前に定めた日程で自主学習のための会議室やリフレッシュのための軽運動室の確保を行い青少年の居場所を提供した。	受託

【青少年音楽団体の運営及び青少年団体に対する助言その他の支援を行う事業】

事 業 名	期 日	人 数	内 容		事 業 区 分
豊田市青少年団体 傷害互助会事業	通 年	596 団体 34,695 人	その他	青少年団体活動の安全確保と事故防止のため、安全意識の高揚を図るとともに、不慮の事故に対して見舞金等の給付を行い、青少年団体の支援を行った。	自主

財団青少年表彰	6月	功労賞 3人 奨励賞 2人	その他	青少年健全育成に優れた業績を挙げた団体、功労者を称えた。	自主
サークル広報事業	年2回	2回 発行	その他	青少年センターで活動する団体・サークル・青少年を紙媒体やインターネットを使って紹介した。	共催
レクリエーション 団体指導者派遣	通 年	派遣 5団体 110件	相談・助言	レクリエーション団体代表者の会議を開催して情報交換を行うとともに、子ども会などへレクリエーション指導者を派遣し、活動支援を行った。	受託
青少年サークル派遣	通 年	2回 2人	相談・助言	様々な特技を持つ登録青少年サークルを地域活動等に派遣し、青少年の社会参加・活動支援を行った。	受託
子ども会事務支援	通 年	---	相談・助言	豊田市子ども会育成連絡協議会の会計事務を中心とした事務支援を行い、活動を推進した。	受託

### 利用実績

#### ○青少年センター

施 設 名	件 数	人 数	利 用 内 容
会議室・音楽室・軽運動室 等	6,945	73,284	会議・研修・バンド練習・ダンス 等

#### ○その他

施 設 名	件 数	人 数	利 用 内 容
ロビー 等	824	23,300	話し合い・たまり場 等

#### ○総合計

総 合 計	7,769	96,584	
-------	-------	--------	--

## 6 総合野外センター

野外活動の拠点施設として、こども園、幼稚園、小学校、中学校のほか、子ども会などの青少年団体の野外体験学習の受入れや活動指導を通して青少年の健全育成を図りました。また、施設を利用する団体に「豊かな自然がある」、「宿泊できる」など、施設の特色を活かした魅力ある活動プログラムが提供できるように、学校と連携した「絆づくりプログラム」や自然環境を活かした活動プログラムの開発、星空観察やナイトハイキング、キャンプファイヤーなどの夜間活動プログラムの充実に努めました。

### ■事業

子どもの「生きる力」を高めるための事業を積極的に行いました。学校の教育課程に位置付けられた小学校のキャンプ、中学校の宿泊学習では、事前打合せに基づく直接指導を通して目的の達成を支援しました。「チャレンジキャンプ」、「山の子学級」、「六所のつどい」、「キッズ・キャンプ」では、参加した子どもたちが、自然のすばらしさを感じたり、学年の枠を超えた集団による活動の中で、思いやりの心や協力性を身につけたりする機会とするため、学校のキャンプでは体験できないような活動を企画・実施しました。「親子deキャンプ」や「ファミリーキャンプ」では、野外活動を通して親子の触れ合いや家族間交流の場を提供しました。また、他施設と連携した事業「応援アウトドア」などを実施しました。

### ■施設運営

学校以外の青少年団体の利用を促進するため、利用希望団体が多い夏休み期間中の月曜日を開館し、利用受入枠の増加に努めました。また施設面においては、利用者が安全に施設を利用できるように、利用者の目線で施設、設備の点検を実施し、不具合が見つかれば早急に対応できる体制づくりに取り組むとともに、あわせて、施設の營繕や自然環境の保全作業についての自主管理能力の向上に努め、経費の縮減を積極的に図りました。また、食堂の効率的な運営を図るために委託業者との連携を密にして進めました。

### 事業一覧

#### 【青少年育成施設等を活用して、青少年の社会性と豊かな情操を養う機会と場を提供する事業】

事業名	期日	人数	内容		事業区分
六所星空ウォッチング	12月 2月 3月	15家族 59人	体験活動等	空気が澄む確立の高い秋・冬期に天体観測と解説を行った。	自主
アウトリーチ事業 応援アウトドア	年5回	5回 230人	体験活動等	他施設を会場に、当センタープログラムやノウハウを使ったミニ野外活動体験会の実施及び他施設主催講座の実施、他施設主催講座への企画協力、職員の講師派遣を行った。	自主

※事業区分について:自主—当財団独自の事業、共催—豊田市との共催事業

ファミリーキャンプ	5～3月 年8回	169家族 645人	体験活動等	自然に親しみ、家族の絆を深めるために野外活動を計画する家族への施設開放と魅力的なプログラムを提供した。 ※5月は日帰り、それ以外は 1泊2日で実施 ※10～3月は自然の家で宿泊	自主
星を見る会	年4回	4回 185人	体験活動等	プラネタリウムで当日の星空を学んだ後、総合野外センターで本物の星空を観察する会を実施した。 (産業文化センターと連携)	自主
キャンプスタッフ 養成講習会	5月23日 ～24日	44人	講座 セミナー 育成	野外活動の意義や基礎的な知識の習得、プログラムの実践体験から指導方法のノウハウを学び、指導力を向上させる機会を提供し、年間を通して意欲的に野外センターで活躍するキャンプスタッフの養成を図った。	自主
	6月27日 ～28日	50人			
	9月19日 ～20日	38人			
	10月26日	40人			
山の子学級	6～11月 年5回	47人	体験活動等	仲間と協力して活動することで、人間的な関わりを深めながら、自然の豊かさや大切さを学ぶことを目的とした野外活動プログラムを提供了。春から秋の半年間で実施した。	共催
チャレンジキャンプ	8月	31人	体験活動等	普段の生活から離れた3泊4日の長期キャンプを通じて、野外活動や生活体験の中で直面する様々な課題を仲間とともに解決し社会性豊かな人間性を育む機会を提供了。	共催
六所のつどい	8月20日 ～21日	32人	体験活動等	活動時期に応じた自然体験、野外活動体験、クラフト活動を実施し、自然の素晴らしさ、大切さを伝えるとともに、集団活動の中で仲間作りや協力することの意義を学ぶ機会を提供了。	共催
	10月24日 ～25日	13人			
	12月26日 ～27日	39人			
キッズ・キャンプ	2月20日 ～21日	小学生 36人 大学生 5人	体験活動等	参加者ニーズに応えられるような冬期キャンプを実施するとともに、市内大学生を公募しキャンプ企画から運営まで携わる事で指導者としての資質向上を図った。	共催
キャンプ インストラクター 養成講習会	2月26日 ～28日	19人	講座 セミナー 育成	日本キャンプ協会と連携して野外活動の基礎的な知識や技能の実践的な講習を行い、野外活動を支援する指導者を養成した。 (キャンプ協会公認インストラクター資格試験受講対象)	共催

指導者研修会	4月29日 6月6日	9人 9人	講座 セミナー 育成	小中学校や少年団体の指導者が実際の場で活かせるように野外活動の基本や指導のポイントを学ぶ機会を提供了。	共催
親子d e キャンプ	年4回	41家族 157人	体験活動等	野外活動の楽しさを紹介し、さらなる野外活動への興味を深め、親子の触れ合いや参加した家族間の交流を図るプログラムを提供了。 ※9月はキャンプ場、その他の時期は自然の家宿泊で開催した。	共催

### 利用実績

施設名	件数	人数	利用内容
少年自然の家	218	21,732	宿泊研修等
青少年キャンプ場	453	31,710	野外活動等
運動広場	24	5,828	軽スポーツ等
資料館	20	719	動植物標本・民芸資料の展示
多目的ホール	106	10,891	軽スポーツ・雨天時等の活動等
研修室	46	4,211	軽スポーツ・雨天時等の活動等
計	867	75,091	

## 7 産業文化センター

市民の文化活動や民間企業の団体活動など多様な利用者ニーズに対応し、複合施設としての特色を活かし、きめ細かな施設運営を図ることができました。また「とよた科学体験館」は、市内唯一の科学教育の拠点施設として、幅広い年齢層の市民が気軽に科学に触れられる生涯学習の機会の拡充に努め、さらに産業文化センター内に青少年センターが移設されたことによる財団のスケールメリットを活かして相互に連携協力した事業運営を図りました。

### ■事業

サイエンス事業では、「サイエンスクラブ（初級）」の希望者の増加に対応して1クラスから2クラスに倍増し、より一層の充実を図りました。また市内の中・高科学部の成果発表として定着してきた「サイエンススクール」はショーの発表会を「サイエンスショーコンテスト」として実施し、「観客賞」などを授与することで、参加校のモチベーションを高めることができました。

プラネタリウム事業では、平成26年度に高い評価を得た「小・中学生天文クイズ」を引き続き開催し、定着化を図ることができました。プラネタリウムの幅広い市民ニーズに応えるべく「子育て支援投映」、「国際交流投映」も継続実施しました。平成27年度の新規事業「宇宙飛行士ワークショップ」は当館だけでなく、市内4交流館でも実施し、地域の子どもたちの天文・宇宙への関心を高め、講師の大学生との交流を図ることができました。

また、青少年センターと連携した「ハロウィンホラーナイト in とよた科学体験館」、大学生共働事業「未来ミライ」などの事業協力を行いました。

### ■施設運営

管理と事業の一体的運営を目指し、施設の機能を最大限に發揮するとともに、ソフト事業の専門的な知識や経験を活かし、民間や行政では実施することが難しい財団独自の事業を展開しました。また、CSアンケートなどから利用者ニーズを的確に把握し、柔軟な対応を心がけることにより利用者満足度（CS）の向上を図ることができました。経費の縮減と安全管理に対しては、職員一人ひとりが経営感覚を持って取り組み、市民から信頼される施設運営を行いました。

### 事業一覧

【青少年育成施設等を活用して、青少年の社会性と豊かな情操を養う機会と場を提供する事業】

事 業 名	期 日	人 数	内 容	事 業 区 分
第2回小・中学生天文クイズ	10月25日	123人 (見学者含む)	体験活動等	市内外から2人1組の参加チームを募り天文に関するクイズ大会を開催した。 (予選・本選同日開催)
ミニワークショップ	毎週土・日 祝日 夏冬春休み	25,637人	体験活動等	短時間でできる簡単な工作教室を実施した。

※事業区分について:自主—当財団独自の事業、受託—豊田市から委託を受けて実施する事業

星を見る会	5月16日	42人	体験活動等	プラネタリウムで当日の星空を学んだ後、総合野外センターで本物の星空を観察する会を実施した。 (総合野外センターと連携)	自主
	9月12日	74人			
	11月15日	54人			
	3月19日	20人			
アストロクラブ 親子天体観測会	8月23日	98人	体験活動等	アストロクラブの会員家族を対象に野外活動と天体望遠鏡での観望会を開催した。	自主
	12月20日	66人			
サイエンスショー コンテスト	12月13日	参加者 78人 見学者 80人	体験活動等	中学・高校の科学部が通年で取り組む「サイエンスショー」の発表会をコンテスト形式として開催した。	自主
高校生ボランティア ものづくりコース	通年	41人	講座、 セミナー、 育成	ミニワークショップの指導やプラネタリウム投映、展示品解説などの補助業務を行った。 (青少年センターと連携)	自主
ものづくり フェスタ 2015	10月8日	230人	体験活動等	ものづくりフェスタ実行委員会主催のイベントに実行委員を派遣・出展協力した。	自主
親子ものづくり講座	通年	128人	体験活動等	ものづくりサポートセンター主催の講座に対し、申込み受付、会場の提供等の事業協力をした。	自主
コラボ事業	通年	698人	体験活動等	相撲甚句、ポシャギ（韓国版パッチワーク）の展示等を各団体と連携し開催した。	自主
宇宙飛行士 ワークショップ (交流館)	1月17日	13人	体験活動等	宇宙飛行士に欠かせない知的能力を育むための訓練を体験プログラムとしたワークショップを市内4交流館で開催した。 (交流館課・4交流館と連携)	自主
	2月16日	16人			
	3月6日	18人			
	3月13日	21人			
宇宙飛行士 ワークショップ	5月2日	22人	体験活動等	宇宙飛行士に欠かせない知的能力を育むための訓練を体験プログラムとしたワークショップをとよた科学体験館で開催した。	受託
演劇プラネタリウム	9月5日	95人	体験活動等	プラネタリウムのドーム空間、演出を活かした演劇会を開催した。	受託
星空散歩ライブ	7月4日	146人	体験活動等	楽器演奏や歌などとのコラボレーションで、音楽と映像と生解説が融合したオリジナル番組を投映した。	受託
	11月23日	84人			
	1月31日	150人			
子育て支援投映 「ママとキッズの はじめての プラネタリウム」	4月8日 (5回)	519人	体験活動等	暗さ・時間・内容を考慮した赤ちゃん連れで観賞できる投映を実施した。	受託
	4月9日 (5回)	531人			

国際交流投映 「外国語DE プラネタリウム」	5月 30 日	54 人	体験活動等	ポルトガル語、中国語による星空解説と最新鋭のデジタル映像による宇宙空間などのCG映像により、外国人向けの投映を実施した。	受託
	3月 26 日	53 人			
プラネタリウム 投映事業	通 年	49,511 人	体験活動等	とよた科学体験館の一般向け・子どもも向け番組の投映、関連イベント開催による利用促進を行った。	受託
		5,787 人		市内のこども園年長児用の幼児番組と小学4年生向け学習番組を投映した。(学習投映)	
星空散歩	1回／週	3,201 人	体験活動等	オリジナル番組として制作し、生解説で投映を行った。	受託
星空クルーズ &天体観望会	年 14 回	870 人	体験活動等	月や惑星などの星空の状況に応じて天体望遠鏡による観望会を開催し、プラネタリウムで星空の予習を行った。	受託
プラネタリウム コンサート	12月 12 日	263 人	体験活動等	プラネタリウムの星空のもと、星座解説やプロの音楽家の生演奏のコンサートを実施した。	受託
アストロクラブ				子どもたちを対象にした天文教室。星の見つけ方や観測の方法などを学んだ。	受託
初級コース	年 6 回	60 人 延べ 360 人	講座、 セミナー、 育成	天文の基礎知識や星座の見つけ方などを学んだ。	受託
中級コース	年 6 回	19 人 延べ 114 人	講座、 セミナー、 育成	望遠鏡の操作や活用の仕方を学んだ。	受託
天文セミナー	5月 23 日	59 人	体験活動等	天文や宇宙開発に関する専門家を講師に招いて講演会を実施した。 講師：高橋真理子氏	受託
親子天文教室	8月 1 日	119 人	体験活動等	親子を対象に季節の星空や宇宙の話題をわかりやすく紹介する教室を開催した。 講師：①浅田英夫氏 ②ブラック星博士	受託
	10月 3 日	139 人			
出前天体観測会	年 17 回	790 人	体験活動等	学校等に指導者を派遣し、持参した望遠鏡による天体観測会を実施した。	受託
宇宙絵画展	6月 17 日～ 1月 31 日	3,498 人	体験活動等	園児が描いた宇宙・月・星座などの絵を募集し展示了。	受託
笑劇サイエンスショー	8/5. 6. 7. 8. 9	1,833 人	体験活動等	笑いのプロ「笑劇派」(単独)によるサイエンスショーを開催した。	受託

サイエンスショー	毎週土日曜日、祝日	19,891人	体験活動等	科学の原理を実験によって紹介する実験ショーを実施した。また、外部講師によるスペシャルサイエンスショーを年1回開催した。	受託
	通年	8,169人	体験活動等	市内のこども園、幼稚園、保育園、小学校の学習利用向けや一般団体向けにサイエンスショーを実施した。	受託
ワークショップ (初級・中級)	年8回	1,008人	体験活動等	難易度に応じて「初級」・「中級」に分類し、1時間半から2時間で科学やものづくりの楽しさを体験できる実験・工作教室を実施した。	受託
サイエンスクラブ 初級コース	年6回	59人 延べ 354人	講座、セミナー、育成	小学3・4年生向けに、年間を通して、科学全般に関する科学実験を中心とした講座を行った。	受託
サイエンスクラブ 中級コース	年6回	24人 延べ 144人	講座、セミナー、育成	小学5・6年生向けに、年間を通して、科学全般に関する科学実験を中心とした講座を行った。	受託
サイエンス スクール	学習会 10月4日	45人	体験活動等	中学・高校の科学部に呼びかけ、6校の科学部がサイエンスショーに取り組み、学習会やサイエンスショーやの発表会を行った。	受託
	発表会 12月13日	558人			
サイエンステラス	年4回	217人	講座、セミナー、育成	大学等の教育機関と連携し、学生との交流や気軽に科学に触れるスペースを開設した。	受託
事業支援者 育成事業	通年	登録者 30人	講座、セミナー、育成	天文分野、サイエンス・ものづくり分野の事業支援者の育成とサイエンスホール展示品の制作、活用を図った。	受託
ものづくりひろば	毎週 土・日	5,329人	体験活動等	土・日曜日に、幼児から小学生の親子がものづくりの楽しさを体験する機会を提供した。	受託
喜楽亭茶会	年5回	631人	体験活動等	茶友会や工芸協会と連携をとりながら、季節ごとに特色ある茶会を開催し、喜楽亭の利用促進を図った。	受託

### 利用実績

施設名	件数	人数	利用内容
小ホール	292	35,047	講演会・発表会
多目的ホール	344	38,179	展示会・研修会・パーティー等
プラネタリウム	856	62,379	学習投映・一般投映等
サイエンスホール	315	193,772	学習見学・一般見学等
喜楽亭	185	9,862	茶会等
その他	5,053	166,415	中日文化センター等
計	7,045	505,654	

## 8 放課後児童クラブ

財団の基本方針の一つである、青少年の健全な育成の推進を図ることを目的とし、平成27年4月から放課後児童クラブの運営を行いました。青少年部に事務局を設置し業務委託を受けた北東部ブロック（旭、足助、小原、下山、藤岡地区）の11の小学校に設置されている各児童クラブの統括をしました。

また、市内児童館の最後の一つであった、藤岡中央児童館の平成27年3月末閉館に伴い、飯野小学校の空き教室を使った飯野地区子どもの居場所づくり事業を行いました。

### ■施設運営

放課後児童クラブでは従来の運営に加えて、当財団の強みである「文化芸術振興」、「青少年健全育成」、「科学体験やものづくり」、「地域の人材資源の活用」などのノウハウを活かし、子どもたちに様々な体験活動や事業を提供しました。子どもの居場所づくり事業では、子どもたちの主体的な活動を通して、異年齢・異世代交流を深めることができるように、安全・安心な環境づくりに配慮しました。

### 参加人数

施設名	通常人数	夏休み人数
石畠小学校（藤岡北部児童クラブ）	26	59
飯野小学校（藤岡中央児童クラブ）	24	69
中山小学校（藤岡南部児童クラブ）	66	101
本城小学校（おばらっこクラブ）	10	32
足助小学校（あすっこクラブ）	13	31
則定小学校（よつば）	9	29
明和小学校（あかだわクラブ）	8	16
新盛小学校（げんきっこ）	3	12
花山小学校（花山クラブ）	10	42
小渡小学校（コッキーズ）	7	14
敷島小学校（キラキラ）	8	15
計	184	420

## 9 交流館

各交流館では、「地域課題の対応支援」、「地域住民の参画」を重要な視点として各地域の特色を活かした運営を目指すと同時に地域活動・課題の解決支援のための相談事業にも力を注ぎました。交流館の取り組みについては、交流館報・ホームページ・広報とよた・交流館情報紙「まなびん」などを活用した情報発信や報道機関への積極的な情報提供を行い、効果的なPRに努めました。

### ■事業

各交流館では、市民一人ひとりが自分らしく充実した社会生活を営むため、生涯にわたり、いつでもどこでも自由に学び活動できる機会を提供しました。また、地域活動の拠点、地域交流の場として、ロビー等のフリースペースを活用し、地域住民がお互いにつながりを持ちながら、地域のために自らが持つ力を発揮しあう場も提供しました。人が輝き、環境にやさしく、躍進するまちを描きながら、「人づくり」、「地域づくり」、「生きがいづくり」、「地域活動の担い手づくり」に関する事業を展開しました。

### ■施設運営

地域住民に愛され、生涯学習活動や地域課題解決の拠点施設となるよう、子どもからお年寄りまで訪れる利用者の方々が何を求めているかを把握し、職員全員で顧客満足の向上に努めました。また、防火管理者や普通救命講習など業務に必要な専門的研修を実施することで、職員の資質向上を図りました。

### 事業一覧

#### 【生涯学習施設を活用して、生涯学習の機会と場を提供する事業】

##### ○事業内容の区分：講座、セミナー、育成　相談、助言

##### 事業区分：自主

交流館名等	事業名	期日	人数	内 容
益富	みんなあつまれ！ ますとみキッズ★ タウン	12月20日	145人	財団のスケールメリットを活かすとともに、コミュニティ会議などの地域の団体と共に小・中学生対象のキッズタウンを開催した。 (青少年センターと共催)
井郷	いさとキッズタウン	1月24日	473人	

※事業区分について：自主—当財団独自の事業、受託—豊田市から委託を受けて実施する事業

事業区分：受託

交流館名	事業名	期日	内容
逢妻	夏休み子どもチャレンジ2015	7月21日 ほか	地域の小学生が、利用グループの活動を体験しながら、異世代交流を図る講座を実施した。
	デジタル一眼レフ入門講座	11月4日 ほか	いきがいづくりや仲間づくりをしながら、地域講師に活躍の場を提供する講座を実施した。
	五平餅を知ろう！作ろう！食べてみよう！	11月15日	郷土料理の五平餅づくりを通して、歴史と文化を知り、継承していく大切さを学ぶ講座を実施した。
	逢愛カフェ	2月16日	地域住民が気軽に集い交流する場となるようカフェ＆コンサートを中心とした講座を実施した。
	その他 13事業／総計	17事業／参加	976人
旭	親子講座 「つくしんば春・秋」	5月21日 ほか	未就園児親子の仲間づくり、情報交換の場の提供と、育児の不安や悩みを解決する講座を実施した。
	そらまめキッズ	7月30日	放課後児童クラブと協力し、地域の子どもたちが、工コ体験や交流等の体験ができる講座を実施した。
	旭サンライズ コンサート2015	9月19日	中学校を会場に、中学生の合唱や民族楽器に触れ音楽を楽しむ講座を実施した。
	出前講座 旭げんき俱楽部2015	12月2日	地域へ出向き、防犯の話や相続の話等必要な知識を得られる講座を実施した。
	その他 2事業／総計	6事業／参加	380人
朝日丘	地域のたまり場づくり ひだまりサロン	4月7日 ほか	気軽に集い憩う場として、ひだまりサロンをボランティアグループと共に開設した。
	ベビー講座 きりん組	4月15日 ほか	親子のふれあいや仲間づくり、離乳食について学ぶベビー講座を開催した。
	子どものこころを つかむ読み聞かせ	7月9日 ほか	絵本の読み聞かせ、紙芝居の実演を学ぶ、ボランティア養成講座を開催した。
	健康講座「ココカラ☆アンチエイジング」	2月21日 ほか	継続できる食生活とウォーキング法を学ぶ、健康講座を開催した。
	その他 13事業／総計	17事業／参加	3,882人
	あすけの町並み塾番外編 今に生きる～鈴木正三～その足跡	9月24日	足助周辺地域で初開催。アニメ上映とゆかりの地訪問で郷土の偉人について学ぶ講座を実施した。
足助	エコライフ講座 「見て、触れて、感じる！エコライフ教室」	7月30日	親子で、企業における環境に対する取り組みについて体験を交えて楽しく学ぶ講座を実施した。
	あなたも作れる驚きの バルーンアート講座	9月5日 ほか	バルーンによるものづくりの楽しさを通して、ボランティア養成につなげていく講座を実施した。
	絵てがみ教室 de 中馬のおひなさん	2月9日 ほか	まちづくりの担い手となる子どもたちが「中馬のおひなさん」に参加し、郷土を知る講座を実施した。
	その他 13事業／総計	17事業／参加	1,105人

井郷	ベビー講座 「よちよち☆パラダイス」	4月 15日 ほか	育児不安の解消と仲間づくりをするために、交流・ふれあい・学びの場を提供する講座を実施した。
	わくわくキッズ ～ふれあい祭に段ボール迷路を作ろう～	6月 21日 ほか	ふれあい祭にむけて、子どもたちが「ダンボール迷路」を自主的に運営する体験の講座を実施した。
	季節の調べ 春のお花見コンサート	4月 4日	コンサートを実施し、幅広い世代の新たな交流館利用者の開拓を図った。
	iプロジェクト 「和のてしごと」	8月 19日 ほか	地域講師から、初心者でも取り組みやすいミニチュア着物作りを学ぶ講座を実施した。
	その他 8事業／総計	12事業／参加	1,059人
石野	環境講座 「上高湿地」	6月 27日 ほか	湿地を巡り、植物等について学びながら、保全活動に関心を持ち、環境意識を高める講座を実施した。
	石野天文講座	8月 6日 ほか	地域講師を活用し、天文について学び、石野運動広場で土星等の観賞をする講座を実施した。
	石野地区防災講座 ～2015～	9月 11日	防災意識の向上と地域講師をリーダーに中学生を実践部隊である意識付けをする講座を実施した。
	石野元気プロジェクト クリスマスコンサート	12月 12日	地域カルテの情報収集で企画した講座。地域デビューを支援し地域住民の交流を図る講座を実施した。
	その他 12事業／総計	16事業／参加	877人
稲武	どんぐり広場	6月 3日 ほか	未就園児親子を対象に、ふれあい遊びや情報交換をし、仲間づくりを目的とする講座を実施した。
	伝統文化の発掘と継承 浦安の舞	7月 28日 ほか	稲武の伝統文化を次世代に伝え、伝統芸能の担い手を育成する講座を実施した。
	稲武の歴史を知る	4月 25日 ほか	地元の歴史を学ぶことで、郷土愛の育成を図り、歴史に興味や関心を高める講座を実施した。
	みんなでチャレンジ ゆかたの着付け講座	7月 12日 ほか	地域の方が講師となり、きものの着付けと礼法を学び、地域の行事に参加を促す講座を実施した。
	その他 9事業／総計	13事業／参加	378人
梅坪台	子育て支援事業	5月 13日	育児不安の軽減をめざして、仲間作りを支援し子育てに役立つ情報収集と学びの講座を実施した。
	子育て HOT サロン梅坪台	ほか	
	月見の会	9月 26日	昔遊びやわらべ歌、抹茶などを通じて住民が交流し地域貢献する講座を実施した。
	交流サロン ひなたぼっこ	4月 22日 ほか	高年大学同窓生と共に地域住民が気軽に参加でき多世代間で楽しみながら交流する講座を実施した。
	わくわくチャレンジ☆ プラス	7月 19日 ほか	交流館を拠点にグループ活動で学んだ技術を地域の子ども達に教え伝える講座を実施した。
	その他 16事業／総計	20事業／参加	1,940人

小原	キッズクラブ 2015.	5月 24 日 ほか	地域講師との様々なふれあいを通して、学区を越えた仲間づくりと地域を知る機会づくりを行った。
	センスアップ講座	6月 17 日 ほか	女性が楽しみながら集う場としての「交流館」で、仲間づくり・人づくりを支援する講座を実施した。
	おばらっき一組	5月 20 日 ほか	子育て世代の居場所づくりと親子交流をとおした仲間づくりをする講座を実施した。
	ほたるを視様	4月 23 日 ほか	敷地内でのほたるの保全活動・鑑賞会企画を通して地域への思いを形にする場づくりとして実施した。
	その他 10事業／総計	14事業／参加	5,706人
上郷	上郷三期大学	5月 20 日 ほか	高齢者が活動をとおして、共に学び、交流しながら、生きがいづくりをする講座を実施した。
	チーム AMITAMA プロジェクト	12月 23 日 3月 12 日	地域に貢献したい高校生のチームの講座企画・実施により地域の方との交流とチームの成長を図った。
	「kokoroつなぐカフェ」	4月 23 日 ほか	カフェボランティアと共に進め、地域の人材発掘と異世代の交流の場を提供する講座を実施した。
	地域カルテネットワーク 「KAMIGO HAPPY 動画」	通年	地域のネットワーク化を目的に地域活動団体や交流館利用者が参画する地域紹介動画を制作した。
	その他 14事業／総計	18事業／参加	2,355人
猿投北	ほたるまつり 2015	6月 13 日	ほたるウォークなどを通し、地域の自然環境に対する意識・関心を深めるイベントを実施した。
	ゴム銃を作ろう！	7月 26 日 ほか	ゴム銃作りを通し、ものづくりの楽しさを学びながら、小・中学生が交流する講座を実施した。
	GO! GO! ボランティア	10月 3 日 ほか	小学生を対象に「ふれあいまつり」に向けて、自分たちでできることを考え、参画する講座を実施した。
	桃の花 Week&観桃会	4月 5 日 ほか	地域資源である特産の桃を題材とし、花見台を無料開放し、地域住民が交流できる観桃会を実施した。
	その他 9事業／総計	13事業／参加	5,460人
猿投台	女性のためのアンチエイジング講座	6月 6 日 ほか	いつまでも輝く女性を目指すため、心身の充実を図りながら、自分磨きをする講座を実施した。
	猿投台 ふれあいコンサート	8月 30 日 ほか	普段触れる事のない生演奏を通して音楽を楽しみ、気軽に集える場、交流の場を設けるため実施した。
	環境講座 飯野川で生き物探し	7月 26 日	親子で自然環境や保護活動について学び、家庭での環境配慮の意識付けを図る講座を実施した。
	親子で学ぼう防災講座	12月 13 日	親子で災害時に役立つノウハウを学び、家庭における防災意識の向上を図る講座を実施した。
	その他 17事業／総計	21事業／参加	1,150人

下山	かがやき大人塾 Part1～4	6月13日 ほか	シニア世代がいきいきと年を重ねるきっかけ作りの場の提供と自主グループの活用をした。
	かえっこバザールをしよう	7月30日 ほか	地域の中学生がふれあいまつりで、『かえっこバザール』を開催。準備・運営を学ぶ講座を実施した。
	夏休みこどもフェスタ	7月29日	夏休みの1日を工作や地産地消のカレーを食べ、作る喜びや地域への愛着心を育む講座を実施した。
	夜の図書室“ぬいぐるみ達のお泊り会”	10月24日	子どもたちのお気に入りのぬいぐるみを図書室にお泊りさせ、様子を話して聞かせる講座を実施した。
	その他 13事業／総計	17事業／参加	4,521人
末野原	託児ボランティア養成講座Ⅱ	7月2日 ほか	託児ボランティアの知識と技術のステップアップと会員の増員を図ると共に、子育て支援を実施した。
	チャレンジ☆キッズ 夏・冬	8月1日 ほか	自主グループ・地域企業と連携し、小学生の体験活動を通して交流館を身近に感じる講座を実施した。
	りらっくすママ	8月21日 ほか	託児ボランティアの協力を得て、母親の心身のリフレッシュを図る講座を実施した。
	安心安全な天然酵母のパンづくり	11月5日 ほか	子育てママを対象にして天然酵母を使用したパンづくりを学び、仲間づくりをする講座を実施した。
	その他 6事業／総計	10事業／参加	821人
崇化館	30th Anniversary まちをきれいにしよう	4月30日 ほか	地域環境に目を向け、記念事業としてまちの清掃をしながら、地域のつながりを深める講座を実施した。
	30th Anniversary 地域でつなぐ「夢あかり」	5月14日 ほか	夢フェスタ前夜祭でライトアップのための灯籠つくり。地域住民の作品を結集する講座を実施した。
	30th Anniversary 崇ちゃんの仲間大集合	8月23日 ほか	地区のマスコットキャラクター「崇ちゃん」の仲間を募集し、夢フェスタで仮装大会を実施した。
	30th Anniversary 「花と音の協奏曲」	12月6日	世界的活躍の地域出身のフラワー・アーティストによる花と音楽のチャリティーコンサートを実施した。
	その他 6事業／総計	10事業／参加	2,781人
高橋	輪・和サロン	5月10日 ほか	地域住民による運営委員会を中心に、交流館を利用する住民が教え、学び合う地域の輪を広げた。
	小・中学生ボランティア講座 「こども力ワあつまれ！」	8月23日 ほか	キッズタウンに向けた取組で、子どもたちが本来持っている柔軟で豊かな発想や企画力を事業に活かした。
	七夕のゆうべ	7月5日	地域の子どもたちが、地域住民とともに伝統や文化に触れ、地域を大切に思う心を育む機会となった。
	段ボールハウスを作ろう！～親子で避難所体験～	12月12日	親子で段ボールハウス作りや防災食の試食をし、避難所の体験を行うことで防災への意識を高めた。
	その他 12事業／総計	16事業／参加	2,213人

藤岡	夏休み親子陶芸講座	7月5日 ほか	地域の資源である陶土を使った陶芸を体験しながら、親子の交流を図る講座を実施した。
	大人の遠足～我がまちふじおか魅力再発見！～	10月15日	地区内の歴史建造物や史跡、工場を巡り、地域の良さを学びながら交流を図る講座を実施した。
	わくドキをプロデュース 2015	6月13日 ほか	中高生が大人と一緒に子ども夏まつりを企画・運営し、仲間づくりや異世代交流を図る講座を実施した。
	わくわく キッズパスポート	11月22日 ほか	地域の豊かな自然の中で、大人と交流しながら自然体験をし、地域の良さを体感する講座を実施した。
	その他 17事業／総計	21事業／参加	1,265人
藤岡南	園芸ボランティア養成講座 「園（エン）ジョイ ガーデニング」	4月18日 ほか	花のある交流館をめざし、園芸活動を通してまちづくりに関わる人材育成の講座を実施した。
	家庭教育講座 2歳児集まれ！「みんな だいすき」	5月19日 ほか	就園を前にした親子に集団行動におけるマナーやルールを遊びと講話を通して学ぶ講座を実施した。
	サロン ふじなん	6月3日 ほか	交流館利用者や地域の方が気楽に集い、交流できる場を設け、住民によるコンサートなどを実施した。
	家族創作イベント 楽しいおもちゃ作り	8月2日	家族で身近な廃材を使って様々なおもちゃを作って遊ぶ講座を実施した。
	その他 12事業／総計	16事業／参加	1,305人
豊南	親子ミニコンサート&かえっこバザール	6月27日	親子で心地良い音楽を聴き、おもちゃのかえっこバザールでリユースを学ぶ講座を実施した。
	ボランティア交流会	7月5日	豊南交流館を核とするボランティアグループの情報交換と交流会を実施した。
	地域の担い手つくり おたスタ Jr.	6月27日 ほか	中学生が、ボランティアとして活躍する場と、異世代との交流の場を提供する講座を実施した。
	ほうなん キッズフェスタ	8月23日	青少年育成部会や中学生と共に催して、ものづくりの楽しさを親子で体験してもらう講座を実施した。
	その他 8事業／総計	12事業／参加	1,201人
保見	川の生きものしらべ	7月18日	地域の川の生き物調査を通して、自然環境の大切さを学ぶ講座を実施した。
	ヒューマン講座① 「認知症を学ぶ」	6月4日	高齢者が、健康で豊かな生活を送られるよう、健康づくりを支援する講座を実施した。
	ほみっこ夏まつり	7月31日	自主グループの活動体験や季節イベントを通して、楽しく地域交流する講座を実施した。
	ハピママの子育て講座	11月20日 ほか	乳児の成長・発達、離乳食等の子育てに関する知識の学習と仲間づくりをする講座を実施した。
	その他 7事業／総計	11事業／参加	730人

前林	子育てぱっぽランド	4月 15日 ほか	遊びを通して親子の絆づくり、子どもの好奇心を育み、子育ての仲間づくりを支援する場を提供した。
	ダンディシニア 農業体験講座	4月 15日 ほか	“楽しみながら地域貢献”を合言葉に、シニア世代のパワーを地域に生かした講座を実施した。
	地域交流の場 ほっこりサロン	4月 7日 ほか	地域住民が気軽に集い、ものづくりやイベントを楽ししながら交流の輪を広げる場を提供した。
	前林地域史跡めぐり ウォーキング	6月 20日 ほか	地域の団体が作成した「史跡ガイドマップ」を活用し、地域を深く知る講座を実施した。
	その他 23事業／総計	27事業／参加	3,274人
	ますとみ大人塾 「すまいるエクササイズ」	2月 2日 ほか	エクササイズを通じたシニア世代の仲間づくりと、健康維持を目的に講座を実施した。
益富	「おおきなおへやで おもいきりあそぼう！」	5月 28日 ほか	子育てサポーターが中心となり運営。広いスペースを活用した遊びを自由に楽しむ講座を実施した。
	「益富のホタル」① 「益富のホタル」②	5月 29日 ほか	五ヶ丘小(4回)と古瀬間小(1回)で、ホタル飼育を通して生き物を大切にする心を育む講座を実施した。
	「ますとみ ゆるやかネットワーク」	5月 16日 ほか	定期的な情報交換会や広報誌の発行、イベントの開催など地域交流を目的に講座を実施した。
	その他 10事業／総計	14事業／参加	1,126人
	地元パワーでアンチエイジング	9月 12日 ほか	地元の商店、民間企業とタイアップして、健康、美容に関わる講座を実施した。
	松平☆ ロビーコンサート	4月 26日 ほか	コンサートを通して文化交流、異世代交流を図る講座を実施した。
松平	こどもチャレンジ隊 三味線を弾こう	7月 18日 ほか	小学生対象に、三味線を通して、演奏する楽しさを体験する講座を実施した。
	松平いいとこ検定	8月 2日	松平地域の自然や歴史を学びながら自然散策し、郷土愛を育む講座を実施した。
	その他 23事業／総計	27事業／参加	1,716人
	ロビーコンサート	6月 4日 ほか	企画者を募り、出演者と参加者双方の立場を考慮して、身近で参加しやすいコンサートを実施した。
	美里らいぶらりい	通年	図書利用の来館者にお薦めの本を紹介してもらい、ポップで掲示し本への興味を促すよう実施した。
	知つて得する講座	7月 19日 ほか	地域住民を対象に、防災、健康料理、相続、詐欺被害防止、デジカメ 等の内容で実施した。
美里	子どものひろば	2月 7日	地区コミュニティ部会が主導となり、養成講座で小学生に企画から関わってもらって実施した。
	その他 18事業／総計	22事業／参加	2,005人

竜神	竜神サンデーサロン	6月7日 ほか	運営委員とともに企画運営し、音楽やものづくりなどで住民同士が交流できる講座を実施した。
	でこぼこキッズ 2歳児	9月10日 ほか	親子の学びの場を設け、友達づくりや子育て不安の軽減を図る講座を実施した。
	女子力 UP 講座 エンジョイクッキング	11月14日 ほか	家族の食卓準備を担う女性が、海外の料理を学び日々の食卓に活用する講座を実施した。
	竜神こどもフェスタ	8月2日	小学生が異世代交流をしながらものづくりや遊びなどいろいろな体験をした。
	その他 20事業／総計	24事業／参加	3,259人
若園	わかぞの「和」の共演 ～茶室へ感謝を込めて～	4月26日	茶室を閉鎖するにあたり、茶席、生け花体験、絵手紙体験、和楽器鑑賞をする講座を実施した。
	子育てサロンサポートー養成講座	9月17日 ほか	子育てサロンの新設に向け、事前に親子との接し方や応急処置などを学ぶ講座を実施した。
	絵画でつなぐ地域の輪 「子ども絵画募集」	11月	子ども達の元気で伸びやかな絵を掲示することで、地域への関心を高める講座を実施した。
	若園 冬のこどもまつり	12月20日	子どもに、大人との交流やものづくりを体験する事で学ぶ楽しさと達成感を味わう講座を実施した。
	その他 15事業／総計	19事業／参加	1,211人
若林	ベビー講座 「ひつじっこ」	6～7月 「5回」	父親の育児への関わり方や夫婦で子育てすることの大切さを学ぶ講座を実施した。自主グループへ移行。
	わくわくチャレンジランド	夏休み 冬休み	子ども達が、普段できない様々な体験を通して地域の自主グループメンバーと交流する場を提供した。
	おじいちゃん出番です イクジイのススメ	10～12月	育児に必要な技術や心得を学び、孫育てに関わっていこうとする意欲を持つ講座を実施した。
	歴史講座 若林歴史研究	6～9月	古文書などを読み解くことにより、若林の歴史を詳しく学習する講座を実施した。
	その他 26事業／総計	30事業／参加	4,203人

## 利用実績

施設名	件数	人數	利用内容
逢妻交流館	会議室等	2,920	38,625 会議・研修・講座・調理実習など
	図書室	47,678 冊	図書の貸出し
	その他	—	個人利用
旭交流館	会議室等	1,136	会議・研修・講座など
	図書室	7,317 冊	図書の貸出し
	その他	—	個人利用
朝日丘交流館	会議室等	6,458	会議・研修・講座・調理実習など
	図書室	66,950 冊	図書の貸出し
	その他	—	個人利用
足助交流館	会議室等	2,467	会議・研修・講座など
	図書室	14,327 冊	図書の貸出し
	その他	—	個人利用
トレーニングセンター他 体育施設	1,538	31,861	グラウンド・テニスコート・体育館・弓道場利用等
井郷交流館	会議室等	4,674	会議・研修・講座・調理実習など
	図書室	154,631 冊	図書の貸出し
	その他	—	個人利用
体育施設	1,731	43,497	体育館・武道場
石野交流館	会議室等	1,714	会議・研修・講座・調理実習など
	図書室	13,161 冊	図書の貸出し
	その他	—	個人利用
石野運動広場	403	16,906	グラウンド利用
稻武交流館	会議室等	766	会議・研修・講座など
	図書室	5,635 冊	図書の貸出し
	その他	—	個人利用
梅坪台交流館	会議室等	4,652	会議・研修・講座・調理実習など
	図書室	53,622 冊	図書の貸出し
	その他	—	個人利用
小原交流館	会議室等	1,673	会議・研修・講座など
	図書室	13,648 冊	図書の貸出し
	その他	—	個人利用
上郷交流館	会議室等	5,315	会議・研修・講座・調理実習など
	図書室	168,158 冊	図書の貸出し
	その他	—	個人利用
上郷公園	903	18,429	グラウンド利用

猿投北交流館	会議室等	1,770	19,376	会議・研修・講座・調理実習など
	図書室	18,575 冊	4,224	図書の貸出し
	その他	—	32,443	個人利用
猿投台交流館	会議室等	2,954	32,744	会議・研修・講座・調理実習など
	図書室	37,928 冊	9,395	図書の貸出し
	その他	—	34,843	個人利用
下山交流館	会議室等	1,029	7,424	会議・研修・講座など
	図書室	9,967 冊	2,977	図書の貸出し
	その他	—	13,597	個人利用
末野原交流館	会議室等	4,035	56,000	会議・研修・講座・調理実習など
	図書室	84,815 冊	18,790	図書の貸出し
	その他	—	54,006	個人利用
末野原運動広場		857	28,750	グラウンド利用
崇化館交流館	会議室等	7,945	89,132	会議・研修・講座・調理実習など
	図書室	38,463 冊	8,922	図書の貸出し
	その他	—	59,603	個人利用
高橋交流館	会議室等	3,446	57,561	会議・研修・講座・調理実習など
	図書室	43,848 冊	9,604	図書の貸出し
	その他	—	53,349	個人利用
高橋運動広場		831	5,016	テニスコート・ゲートボール場利用
藤岡交流館	会議室等	2,304	21,063	会議・研修・講座など
	図書室	14,980 冊	3,556	図書の貸出し
	その他	—	39,359	個人利用
藤岡南交流館	会議室等	1,523	18,450	会議・研修・講座・など
	図書室	20,116 冊	3,910	図書の貸出し
	その他	—	17,667	個人利用
豊南交流館	会議室等	4,415	60,935	会議・研修・講座・調理実習など
	図書室	101,422 冊	22,898	図書の貸出し
	その他	—	105,966	個人利用
保見交流館	会議室等	4,038	60,505	会議・研修・講座・調理実習など
	図書室	149,719 冊	32,162	図書の貸出し
	その他	—	21,244	個人利用
保見運動広場		1,782	29,812	グラウンド、テニスコート等利用
前林交流館	会議室等	2,441	29,939	会議・研修・講座・調理実習など
	図書室	16,640 冊	3,744	図書の貸出し
	その他	—	26,272	個人利用
益富交流館	会議室等	3,387	42,907	会議・研修・講座・調理実習など
	図書室	40,712 冊	10,049	図書の貸出し
	その他	—	36,782	個人利用

松平交流館	会議室等	3,094	35,314	会議・研修・講座・調理実習など
	図書室	40,492 冊	8,439	図書の貸出し
	その他	一	41,575	個人利用
松平運動広場		497	17,841	グラウンド利用
美里交流館	会議室等	4,827	55,176	会議・研修・講座・調理実習など
	図書室	38,532 冊	8,535	図書の貸出し
	その他	一	41,616	個人利用
竜神交流館	会議室等	3,900	63,923	会議・研修・講座・調理実習など
	図書室	81,927 冊	16,542	図書の貸出し
	その他	一	53,018	個人利用
土橋公園		1,431	20,194	グラウンド・テニスコート等
若園交流館	会議室等	2,623	33,867	会議・研修・講座・調理実習など
	図書室	25,595 冊	6,568	図書の貸出し
	その他	一	21,872	個人利用
若林交流館	会議室等	3,776	55,974	会議・研修・講座・調理実習など
	図書室	70,066 冊	15,902	図書の貸出し
	その他	一	27,120	個人利用

## 10 教職員会館

教育関係職員等の研究・研修活動の拠点施設として、教育文化振興の寄与に努めました。テニスコートにおいては、広く市民に開放し、体力の維持・増進とコミュニケーションづくりに貢献できるよう、より質の高いサービスの提供を目指しました。また、安全・安心で効果的な施設運営を行うとともに施設の認知度を高め、利用の増加を図りました。

### ■施設運営

職員の創意と工夫により、快適な環境づくりに努め、研究・研修施設としての役割の充実と利用率の向上を図るとともに、利用者ニーズを的確に把握し、柔軟な対応により利用者満足度(CS)の向上に努めました。また、経費の削減に取り組む一方、安全管理に対しては職員一人ひとりが知恵を出し合い、信頼される施設運営を行いました。

### 利用実績

施設名	件数	人数	利用内容
会議室等	1,919	44,086	会議・研修会等
テニスコート等	809	4,182	テニス
計	2,728	48,268	